

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	
担当課	産業振興課
重要業績評価指標 (KPI) 目標値	事業所・企業等創業件数 15件
現状値	0 件

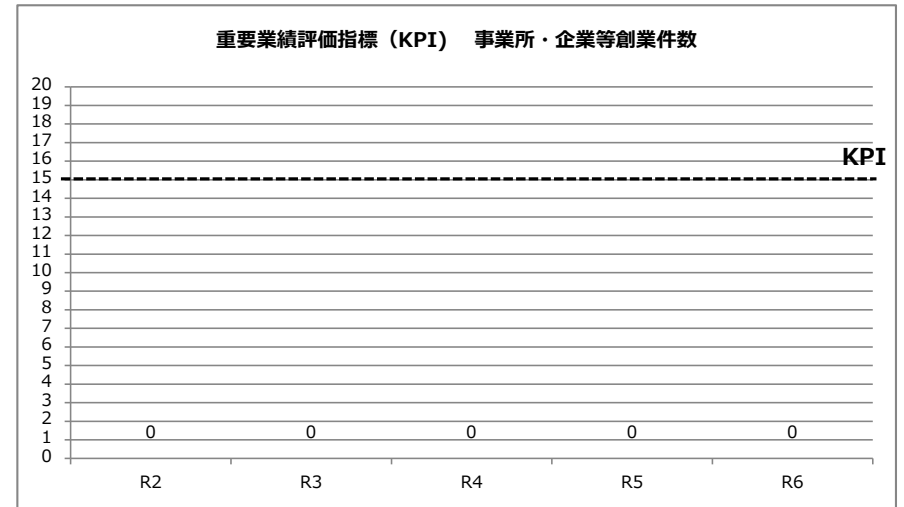
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度					
目標値 (件)	3	6	9	12	15					
実績値 (件)										
目標に対する達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-					
評価										
目標 [PLAN]	本村の基幹産業である農業を核として産業の幅を広げるとともに、地域特性を活かした産業の活性化と起業支援を図り、魅力ある就労・雇用の場を創出します。									
実績 (具体的な 取組内容) [DO]	}									
分析 [CHECK]						詳細については、1-⑤及び1-⑥に記載。				
対応方針 [ACTION]										
備考										

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	1-④ 高山村らしい果樹とワイン産地づくり
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	ワインぶどう栽培面積 60ha
現状値	55 ha （R元年度）

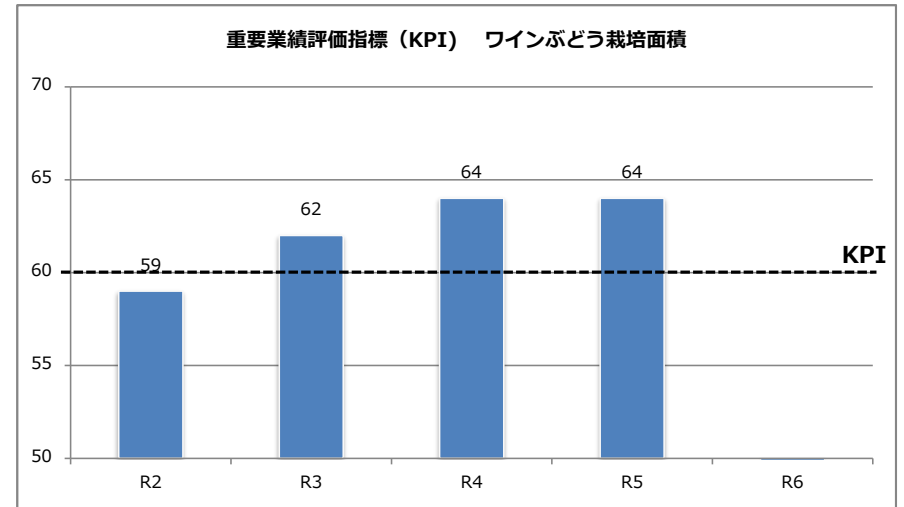
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（ha）	56	57	58	59	60
実績値（ha）	59	62	64	64	
目標に対する達成率	105.4%	108.8%	110.3%	108.5%	0.0%
現状値に対する増減率	107.3%	112.7%	116.4%	116.4%	0.0%
評価	◎	◎	◎	◎	
目標 [PLAN]	ブランド化された「信州高山さわやかりんご」や高価格で取引されるシャインマスカットをはじめとしたぶどう等の果樹振興を図ります。また、世界に誇れるワイン産地のむらを目指して栽培面積の拡大と品質向上を図るとともに、人材育成・確保を推進し、醸造技術の向上によりワイン振興を推進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	国の耕作放棄地再生利用緊急対策交付金の活用や村単独事業の苗木購入・棚資材購入費の補助により、農地の再生・ワインぶどう栽培農地の整備などを積極的に実施しています。ワインぶどう産地形成推進事業により苗木購入補助4件335,800円（2/10）、棚資材購入費2件144,000円（1/10）を実施しました。				
分析 [CHECK]	ワインぶどうの栽培面積は令和3年度と比べ2ha増加し、令和4年度で64haとなりました。令和5年度は64haと増加に至っていませんが、今年度は昨年度より村単独の補助事業などが有効に活用されています。				
対応方針 [ACTION]	平成29年度に1/10から2/10に拡大した苗木購入費への補助を継続するとともに、気象データの活用による安定した農作物栽培への支援を実施し、農業委員会との連携による栽培面積の更なる拡大を図ります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	村内で醸造されたワインの販売先を開拓する支援を村で検討してほしい。
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	1-④ 高山村らしい果樹とワイン産地づくり
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	りんご栽培面積 157ha
現状値	157 ha （R元年度）

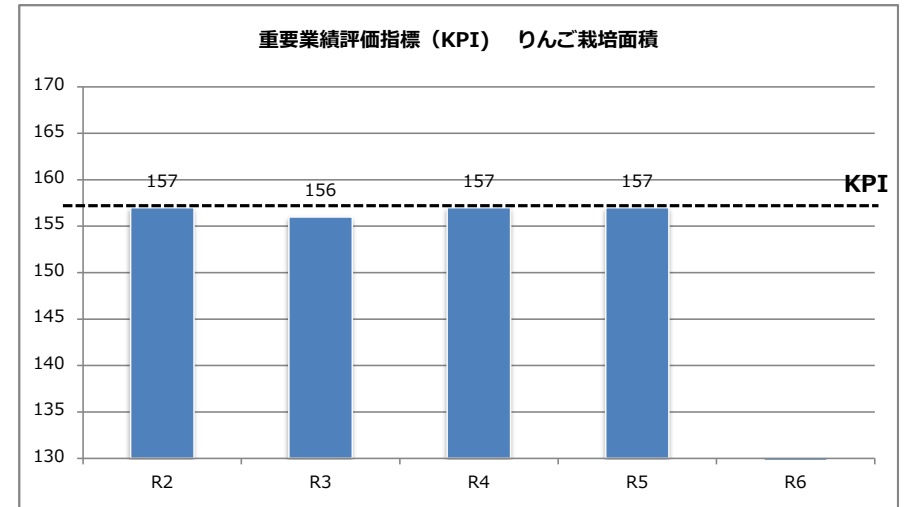
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（ha）	157	157	157	157	157
実績値（ha）	157	156	157	157	
目標に対する達成率	100.0%	99.4%	100.0%	100.0%	0.0%
現状値に対する増減率	100.0%	99.4%	100.0%	100.0%	0.0%
評価	◎	△	◎	◎	
目標 [PLAN]	ブランド化された「信州高山さわやかりんご」や高価格で取引されるシャインマスカットをはじめとしたぶどう等の果樹振興を図ります。また、世界に誇れるワイン産地のむらを目指して栽培面積の拡大と品質向上を図るとともに、人材育成・確保を推進し、醸造技術の向上によりワイン振興を推進します。				
実績（具体的な取組内容） [DO]	りんご産地形成推進事業において、苗木購入補助43件、335,600円（補助率5/10）を実施しました。（前年比7件の減）				
分析 [CHECK]	農業者の高齢化や担い手不足、また凍霜害による販売減少等が懸念されたものの、栽培面積は横ばいを保ちました。村単独補助事業、一昨年度作成したりんご剪定作業の動画や昨年度作成した収穫動画などが、有効に活用されています。				
対応方針 [ACTION]	令和2年度に3/10から5/10に拡大した苗木購入費への補助、1/10から2/10に拡大した棚資材購入費への補助を継続するとともに、昨年度作成した「りんご栽培の基本」の動画を活用しながら、担い手不足や栽培面積の維持及び品質の向上を図ります。また、移住相談会で農業に興味のある方に動画を見てもらい、りんご栽培に意欲ある農業者の確保と栽培面積の拡大を図ります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	1-④ 高山村らしい果樹とワイン産地づくり
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	ぶどう栽培面積 110ha
現状値	102 ha (R元年度)

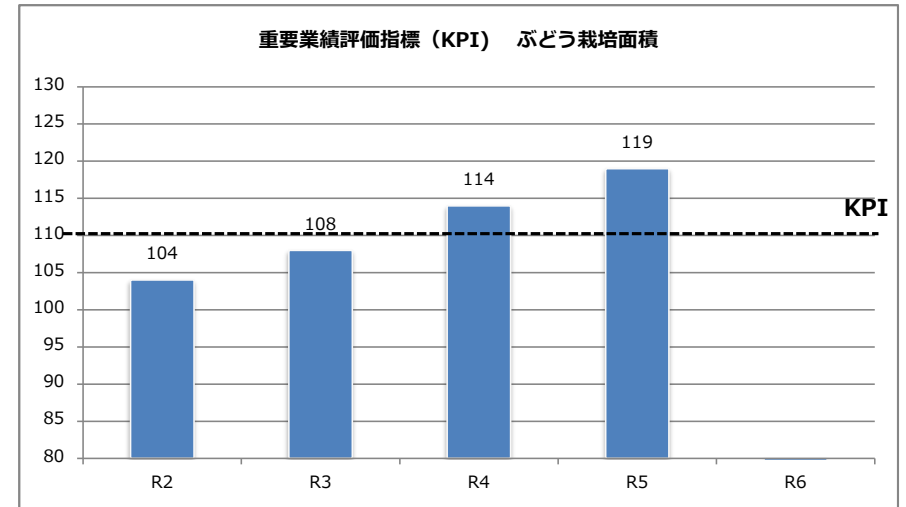
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値 (ha)	104	106	108	109	110
実績値 (ha)	104	108	114	119	
目標に対する達成率	100.0%	101.9%	105.6%	109.2%	0.0%
現状値に対する増減率	102.0%	105.9%	111.8%	116.7%	0.0%
評価	◎	◎	◎	◎	
目標 [PLAN]	ブランド化された「信州高山さわやかりんご」や高価格で取引されるシャインマスカットをはじめとしたぶどう等の果樹振興を図ります。また、世界に誇れるワイン産地のむらを目指して栽培面積の拡大と品質向上を図るとともに、人材育成・確保を推進し、醸造技術の向上によりワイン振興を推進します。				
実績（具体的な取組内容） [DO]	生食用ぶどう産地形成推進事業により、苗木購入補助80件516,900円（補助率3/10）、棚資材購入補助7件876,200円（補助率1/10）を実施しました。				
分析 [CHECK]	農業者の高齢化や担い手不足が懸念されたものの、販売価格の高騰により栽培面積は5ha増え119haとなりました。果樹振興事業補助金が活用されていることもあり、令和2年から15ha増えています。新規就農者のぶどう栽培者が増えています。（令和2年4名、令和3年4名、令和4年1名、令和5年1名 計10名）。				
対応方針 [ACTION]	苗木購入費・棚資材購入費への補助を継続し、栽培面積の拡大と品質の向上を図ります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	1-② 農業6次産業化の推進
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	農業6次産業化施設 創業件数 5件
現状値	0件

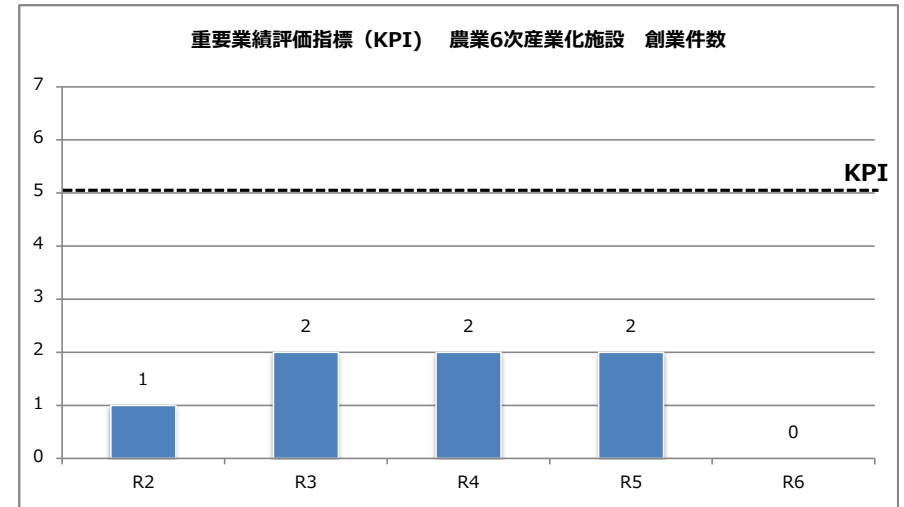
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	1	2	3	4	5
実績値（件）	1	2	2	2	
目標に対する達成率	100.0%	100.0%	66.7%	50.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	◎	◎	○	○	
目標 [PLAN]	「農商工・産学官」が連携して農作物の付加価値を高めるため、特産品の開発、農産物・特産品の販売拠点の強化を図ります。特に、ワインぶどうを加工・販売するワイナリーをはじめ、本村が誇るりんご・ぶどう等の農作物の6次産業化によるブランド化を推進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	小規模な加工施設の建設が増加することを見込み、農業6次産業化推進事業補助金の対象事業費の下限を2,000万円から500万円に緩和しましたが、令和5年度中の申請はありませんでした。				
分析 [CHECK]	6次産業化を目指すには、作物の品質や収量を確保し、施設整備のための資金力も必要となるため、創業までの準備期間を要することから、実質件数が伸びない状況にあります。				
対応方針 [ACTION]	広報紙に掲載するほか、農業者が参集する会議など、6次産業化を目指す方を対象とした集会等を設営し、村や県の支援制度の周知をするとともに、事業化に向けた支援を行います。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	○ ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	1-③ 農業の担い手の育成・確保
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	認定農業者数 100人
現状値	98人（R元年度）

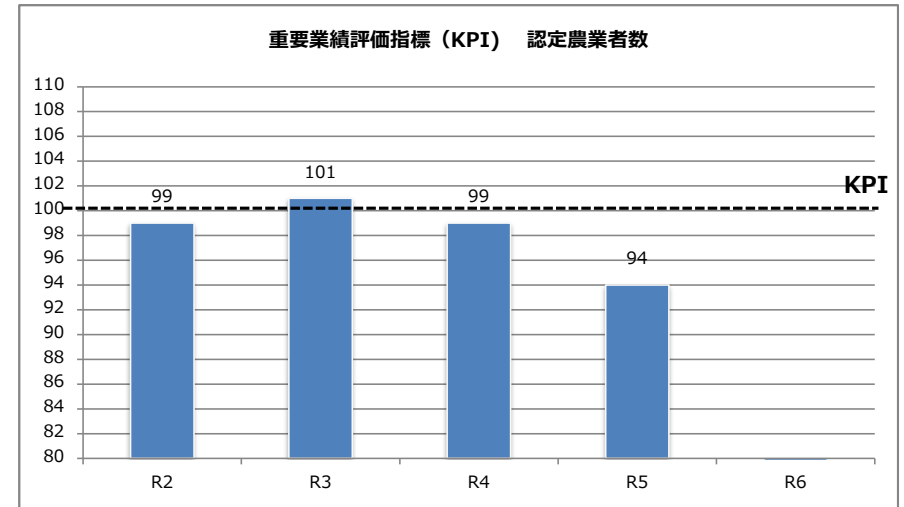
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	98	98	99	99	100
実績値（人）	99	101	99	94	
目標に対する達成率	101.0%	103.1%	100.0%	94.9%	0.0%
現状値に対する増減率	101.0%	103.1%	101.0%	95.9%	0.0%
評価	◎	◎	◎	○	
目標 [PLAN]	認定農業者制度や里親制度等の活用、農業生産団体の法人化及び農業生産法人の参入促進等を図るとともに、首都圏等で開催される就農相談会への出展や就農体験の実施等により、新規就農者の育成・確保を図ります。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	認定農業者支援対策事業により、共済掛金補助22件80,929円（補助率1/10）、収入保険掛金補助25件193,280円（補助率1/10）及びコンポスト補助40件101,266円（補助率2/10）を実施しました。また、認定農業者果樹栽培機械購入補助を3件650,000円、認定農業者機械化資金融資利子補給金を15件189,012円を実施しました。なお、認定農業者数は前年度99人から5人減り94人となっています。				
分析 [CHECK]	農業者の高齢化や担い手不足、また新型コロナウイルスの影響による販売減少等が影響したほか、農業者の高齢化のため認定農業者の再申請をしない方が5人いた一方で、新規認定者がいなかったため、認定農業者数は前年度から5人減り94人となりました。				
対応方針 [ACTION]	認定農業者の将来候補となる認定新規就農者を養成するとともに、認定農業者になるための要件や補助制度を効果的に周知します。また、村の農業の魅力について就農相談会や様々な場で紹介し、新規就農者などの農業の担い手確保に努めてまいります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	○ ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	1-③ 農業の担い手の育成・確保
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	新規就農者数 12人
現状値	0人

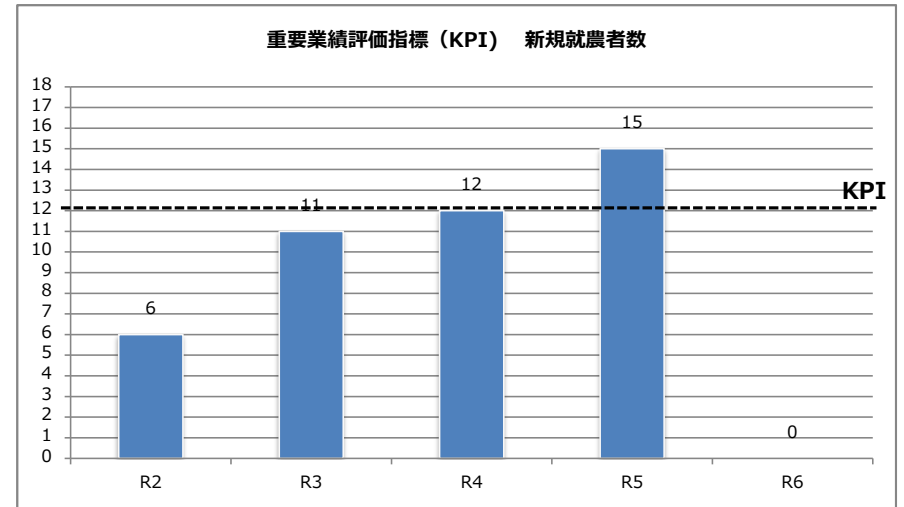
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	3	6	8	10	12
実績値（人）	6	11	12	15	
目標に対する達成率	200.0%	183.3%	150.0%	150.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	◎	◎	◎	◎	
目標 [PLAN]	認定農業者制度や里親制度等の活用、農業生産団体の法人化及び農業生産法人の参入促進等を図るとともに、首都圏等で開催される就農相談会への出展や就農体験の実施等により、新規就農者の育成・確保を図ります。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	R5から首都圏で開催される就農相談会への参加を再開するとともに、オンライン相談会、個別の相談などでは46件の相談がありました。就農体験会では3人を受入れ、りんごの摘果作業やぶどう・りんごの収穫出荷作業を行いました。R5で3人が新たに就農しました（生食用ぶどう1人、ワインぶどう2人）。				
分析 [CHECK]	就農希望者が居住する住宅が不足しているため、空き家対策と連携し受け入れ体制を強化しています。				
対応方針 [ACTION]	オンライン相談会を継続して行うとともに、今年度同様首都圏等で開催される就農相談会へも参加し、就農体験会の参加者を増やします。このほか、就農希望者が安心して移住できる体制づくりを、他係と連携しながら進めてまいります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	1-④ 消費の拡大
担当課	産業振興課
重要業績評価指標 (KPI) 目標値	想定直接消費喚起額 2.5億円
現状値	0 億円

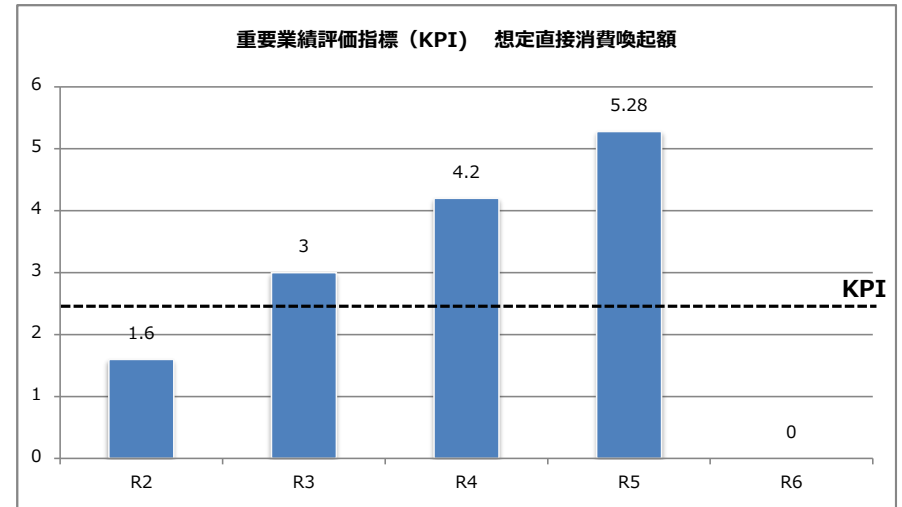
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値 (億円)	0.5	1	1.5	2	2.5
実績値 (億円)	1.6	3.0	4.2	5.28	
目標に対する達成率	320.0%	300.0%	280.0%	264.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	◎	◎	◎	◎	
目標 [PLAN]	村内の商工会加入店舗等で使用可能なプレミアム商品券を発行すること等により、村内での購買・消費の拡大を図り、地域経済の活性化を促進します。				
実績 (具体的な 取組内容) [DO]	新型コロナウイルスが第5類に分類されたことから、世間が行動制限を徐々に緩和し、人の往来や消費需要の増が予想されましたが、大幅な回復とはなりませんでした。このため、商工業者の支援及び村内・村民の消費拡大に向け(発行額は1億円から9,000万円に減額)、昨年度に引き続き20%のプレミアムが付いた商品券の発行を実施しました。				
分析 [CHECK]	物価高騰の影響もあり、村民の購買意欲が高く、昨年より早く完売することになりました。 また、使用率(換金率)は99.5%であり、村民の消費喚起と村内各事業者の売上の向上には繋がっています。				
対応方針 [ACTION]	コロナ禍による影響は徐々に収まり、以前のような景気に戻していくために、消費喚起に資する事業の実施を継続していく必要があります。また、業種の偏りについては商工会と検討していくべき課題であると考えています。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	1-⑤ 起業支援及び事業承継支援の充実
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	事業所起業件数 15件
現状値	0件

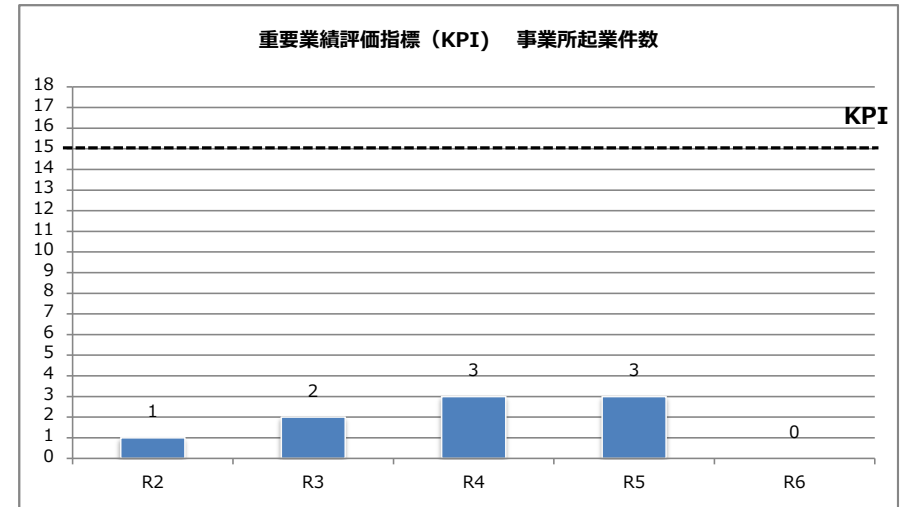
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	3	6	9	12	15
実績値（件）	1	2	3	3	
目標に対する達成率	33.3%	33.3%	33.3%	25.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	○	○	○	○	
目標 [PLAN]	本村の強み、特色等を活かし、本村での起業に対する意欲喚起と動機づけを行うとともに、本村での就労に関する各種情報提供や経営指導、融資・補助制度の充実等により、時代に即した起業支援の強化を図ります。また、事業承継にかかる費用の一部を助成するなど、村内事業所の円滑な事業承継及び「第二創業」など既存事業所の新規事業展開を支援します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	令和3年度に「高山村創業支援補助金」の対象者を拡大し、新規創業だけではなく創業から3年以内の事業者や新分野への進出する事業者も対象としています。令和5年度は3月7日現在1件相談中となっています。				
分析 [CHECK]	コロナ禍による経済状況が停滞する中で、起業するには大変厳しい環境となっています。厳しい状況ではありますが、起業を希望する方に対しては、事業計画策定や資金繰り等の相談に応じるとともに、商工会や金融機関等との連携を深めていく必要があります。				
対応方針 [ACTION]	今後も新規起業や起業後の経営安定を支援するため、補助金の活用を促進していきます。また、商工会や金融機関等と連携し、事業計画や資金繰り等に係る相談事業や研修事業等の内容の充実に努めます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	○ ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	1-⑥ 企業等の誘致
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	新規企業等立地件数 2件
現状値	0件

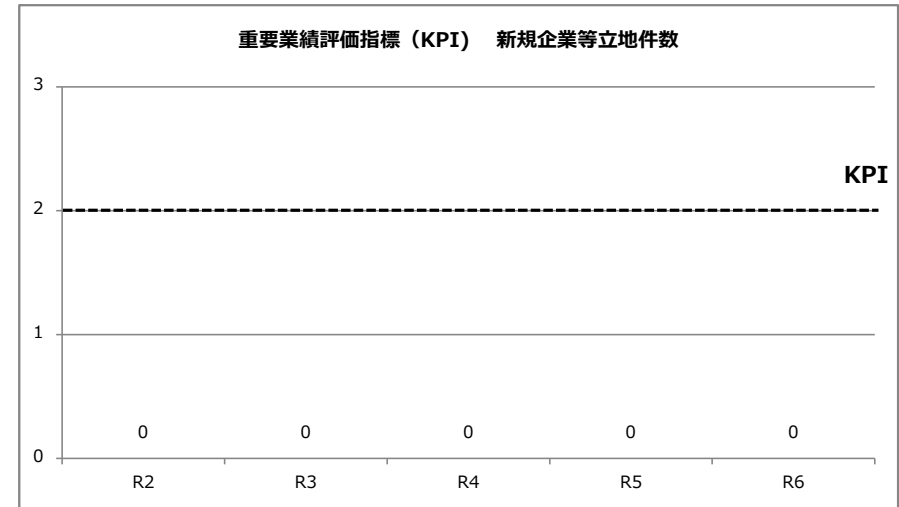
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	1	1	1	2	2
実績値（件）	0	0	0	0	
目標に対する達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	-	-	-	-	-
目標 [PLAN]	商工業分野のみならず、環境分野や福祉分野など地域課題に対応し、かつ今後成長が見込まれる分野における企業等の立地を促進し、雇用の創出を図ります。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	令和5年度の企業立地の実績はありません。				
分析 [CHECK]	現在のところ、工場等の立地に資する用地が確保されていないことから、企業立地に係る問い合わせはほぼない状況です。				
対応方針 [ACTION]	現時点では企業立地等の具体的な計画はなく、受け入れできる用地も確保されていないことから、工場等の建設のニーズを把握しつつ村内土地利用の方向性を定めていく必要があります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	- 目標値、事業の見直し等が必要

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	1 むらにしごとをつくり、安心して働けるようにする
主な施策	1-⑦ 産業活性化のための人材活用・連携
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	産学官金労言との連携事業件数 11回
現状値	0回

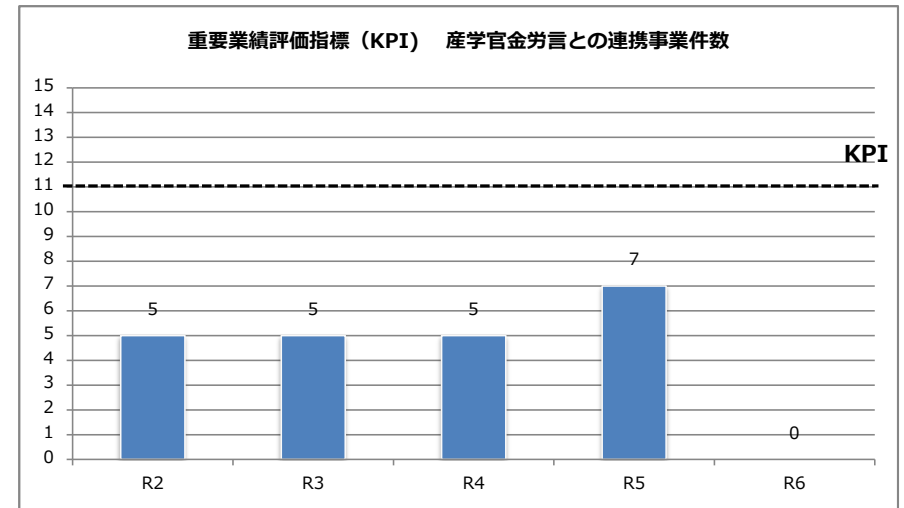
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（回）	2	4	6	8	11
実績値（回）	5	5	5	7	
目標に対する達成率	250.0%	125.0%	83.3%	87.5%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	◎	◎	○	○	
目標 [PLAN]	地域産業の活性化の取組みに関する知見やノウハウを有する外部の専門家等を招聘し、指導・助言を受けながら、本村の魅力を最大限引き出し、産業活性化に資する人材の育成を図ります。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	地域の事業者育成のため、長野信用金庫が主催する「創業カレッジ」や「しんみせチャレンジ」、須坂商工会議所が主催する「須高未来塾」が開催されました。また、自治体や企業団体等が主催する「産業フェアin信州」が開催され、地域産業をPRしました。				
分析 [CHECK]	本年度の実施事業は4事業であり、村内関係者の参加が「須高未来塾」で1名、「産業フェアin信州」で1社ありました。				
対応方針 [ACTION]	今後も物価の高騰等により事業者の経営環境は厳しい状況が続くものと思われませんが、地域産業を支える人材の育成・確保のために、研修事業やPR活動は有意義であるため、引き続き実施するよう関係団体との連携を深めていきます。また、村内関係者の参加を増やすため、PR活動に努めます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	○ ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	
担当課	住民税務課
重要業績評価指標 (KPI) 目標値	社会移動（転出入数の差し引き） △ 3人
現状値	△ 19人（H27～R元平均）

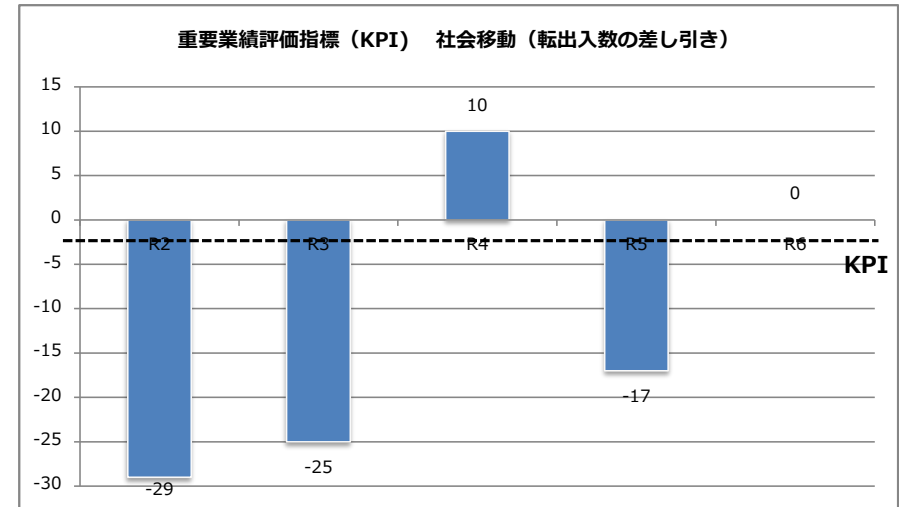
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	△ 18	△ 14	△ 10	△ 6	△ 3
実績値（人）	△ 29	△ 25	10	△ 17	
目標に対する達成率	62.1%	56.0%	-100.0%	35.3%	
現状値に対する増減率	65.5%	76.0%	0.0%	0.0%	
評価	△	△	◎	△	
目標 [PLAN]	四季折々の自然と美しい風景に囲まれた本村での暮らしの魅力を発信しつつ、定住・移住を促進するとともに、本村を訪れ、関わる「交流人口」及び「関係人口」の拡大を図ります。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	村独自の結婚や子育てに対する支援や、新規就農者等への支援策など多様な対策を講じ、前年度は目標値を大幅に上回る結果となりましたが、進学や結婚を理由とした若年層の転出に歯止めがかからず、加えて村内企業における外国人研修生の受け入れが一段落したことから、本年度は目標値を下回る結果となりました。				
分析 [CHECK]	若年層が進学や就職を機に首都圏等に転出するケースのほか、結婚を機に夫婦のみの生活を求め、近隣市町の集合住宅に転出するケースが顕著である一方、新規就農者や老後の平穏な生活を求めて移住する者も近年見られる傾向にあります。				
対応方針 [ACTION]	若年層に対する一時的な居住地の確保策の検討や、空き家対策の充実による住宅の確保とともに、「おしごとながの」などの活用により就業の場の創出を図ります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-④ 高山村らしさを活かした観光資源の充実と活用
担当課	産業振興課
重要業績評価指標 (KPI) 目標値	年間観光客延べ利用者数 550,000人
現状値	520,740 人 (H27~R元平均)

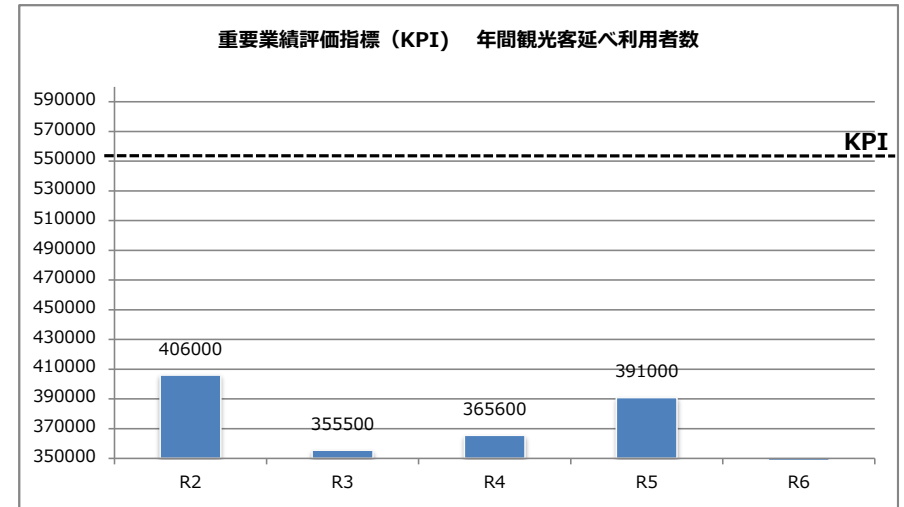
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値 (人)	527,000	533,000	539,000	545,000	550,000
実績値 (人)	406,000	355,500	365,600	391,000	
目標に対する達成率	77.0%	66.7%	67.8%	71.7%	0.0%
現状値に対する増減率	78.0%	68.3%	70.2%	75.1%	0.0%
評価	△	△	△	△	
目標 [PLAN]	桜や紅葉、温泉、スキー、トレッキングや農産物直売等、四季折々の観光につながる資源の整備・活用を促進するとともに、村の歴史・文化や志賀高原ユネスコエコパーク、「日本で最も美しい村」連合加盟など本村固有の魅力を活用した誘客を図ります。加えて、「ワイン」や「星」など新たな観光資源に注目し、体験型、参加型、交流型等の要素を取り入れた村民主導の観光プロモーションを推進します。				
実績 (具体的な取組内容) [DO]	村内では桜まつりの全面開催や、近年中止となっていた村内イベントの開催、石川県等県外でのPRを行いました。また、将棋名人戦の影響もあり、名人戦直後は山田温泉への来訪数の増加も見られました。大幅な旅行者数回復とはならなかったが、徐々に増加している傾向にあります。				
分析 [CHECK]	村内観光事業者も様々なイベントや工夫により誘客に力を入れています。また、福井原のみまわり畑など、地域住民による村の新しい魅力の発信もあり、コロナ禍前の状態を目指すと同時に、観光事業者および地域住民と連携し、こういった発信を広く行っていくことで更なる誘客につなげていくことも必要です。				
対応方針 [ACTION]	今年度はコロナによる制限等がなくなり、以前と同様に開催されるイベントが多かったためか、観光客数の増加が見られました。継続した観光客数の増加のために、村からの発信を絶やさず行い、今年度の名人戦のような稀有な機会を逃さないよう、鉄道会社や観光事業者等と連携し、誘客施策を実行していきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	観光客数の捉え方が実態に即していない。基礎となる数値を正しく捉えることができるよう検証が必要である。 観光客が夜間楽しめるようなコンテンツの開発が求められる。 名人戦の開催等を活かした観光PRに、これまで以上に注力すべきである。
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-② インバウンド対策の推進
担当課	産業振興課
重要業績評価指標（KPI）目標値	外国人観光客数 1,500人
現状値	935人（H30年度）

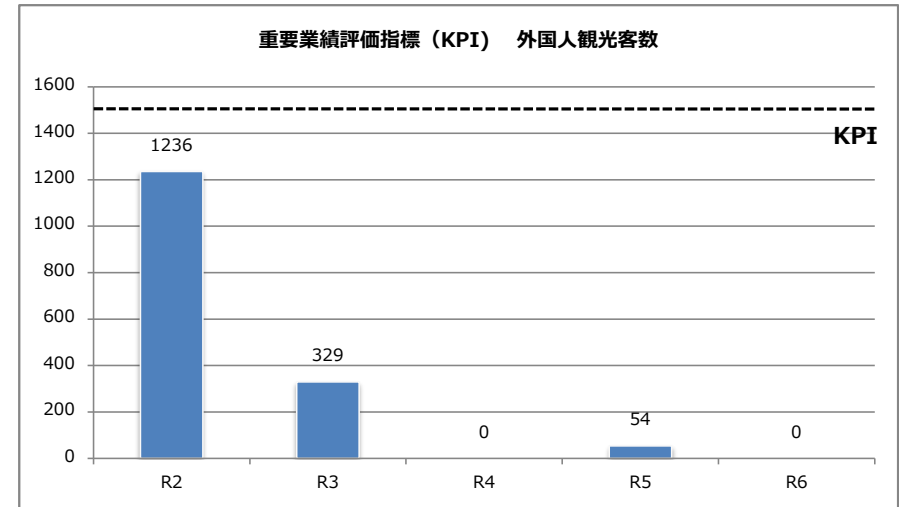
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	1,100	1,200	1,300	1,400	1,500
実績値（人）	1,236	329	0	54	
目標に対する達成率	112.4%	27.4%	0.0%	3.9%	0.0%
現状値に対する増減率	132.2%	35.2%	0.0%	5.8%	0.0%
評価	◎	△	△	△	
目標 [PLAN]	HPやSNS、海外メディア等を通じて本村の魅力を積極的に発信し、外国人の誘客を推進するとともに、来村する外国人が村の魅力を満喫し、安全・安心して過ごすことができるよう、看板・パンフレット等の外国語対応やWi-Fi環境の整備、キャッシュレス対応支援、価値観を尊重したおもてなしなど、受入れ体制の整備を推進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	実績値は、県の「外国人観光客宿泊数調査」によるもので、集計時期の都合により、令和4年1月～12月の実績値が直近データとなります。 コロナ禍による外国人旅行客の受け入れ制限の影響を受けた形となっています。				
分析 [CHECK]	令和4年10月11日に新型コロナウイルス感染防止に伴う入国者総数の上限（50,000人/日）が撤廃され、68の国のビザ免除処置が再開されました。令和4年は外国人旅行客が戻ってきましたが、コロナ前の水準には届いていません。				
対応方針 [ACTION]	令和4年はコロナ禍による入国制限が緩和されはじめましたが、依然として影響を受けていました。効果検証が困難な状況ではありますが、事業の優先順位を決めながらインバウンドの受け入れを推進していきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	周辺市町村に訪れる外国人観光客を高山村に引き込む誘導策を講じる必要がある。 長野駅改札口等でPR動画放映を行うほか、周辺市町村の道の駅等に村の観光パンフレットを配置するよう依頼するなど、高山村の魅力を知らせてもらう取組みが必要である。
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-③ 移住に向けた支援・情報発信の充実
担当課	産業振興課・定住支援室
重要業績評価指標（KPI）目標値	移住相談件数 750件
現状値	0件

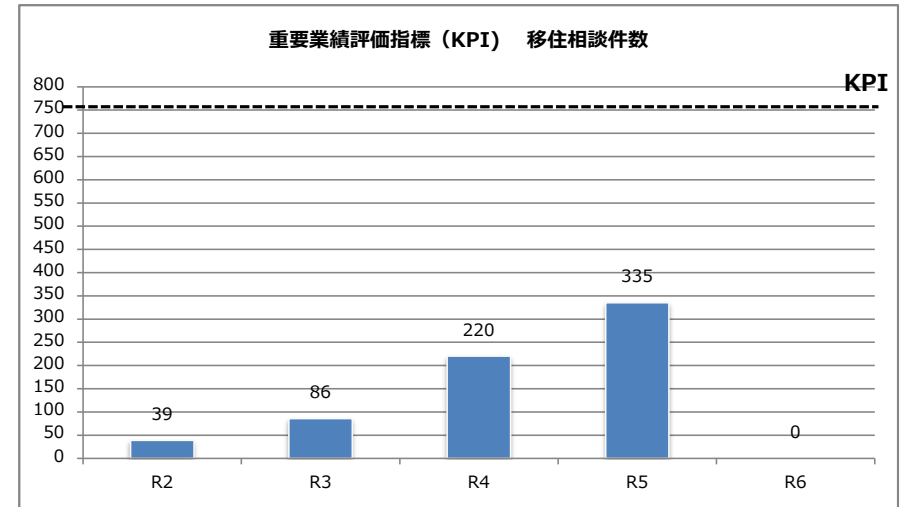
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	150	300	450	600	750
実績値（件）	39	86	220	335	
目標に対する達成率	26.0%	28.7%	48.9%	55.8%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	○	○	○	○	
目標 [PLAN]	本村の移住先としての魅力をPRするため、様々な機会や媒体を通じた積極的な情報発信を行います。また、本村への移住を希望・検討する人に対する相談や移住環境の整備、移住希望者等を対象としたイベントの開催や情報発信等によりの支援の充実に努めます。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな相談会場として名古屋を追加、東京及び名古屋において対面の相談会を開催するとともに、オンラインでの相談会を毎月1回実施しました。 ・SNSを活用して本村の魅力の発信に努めました。 ・移住相談協力店として、今年度から村内5か所の商店等にご協力いただき、閉庁日の土日を含め、相談体制の充実に努めました。 				
分析 [CHECK]	・村の認知度が低いいためか、相談会における相談件数が少ない状況であり、効果的なPRの方法や媒体の調査・研究が必要な状況です。				
対応方針 [ACTION]	<ul style="list-style-type: none"> ・村の認知度を向上させることにより相談件数が増加すると考えており、引き続きSNS等を有効に活用し積極的なPRを行います。 ・移住相談会では、相談希望者の多様なニーズに沿った気軽に相談できる場を設けるよう、改善に努めます。 				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	○ ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-③ 移住に向けた支援・情報発信の充実
担当課	産業振興課・定住支援室
重要業績評価指標（KPI）目標値	移住相談参加者のうち、本村に移住した人の人数 50人
現状値	0人

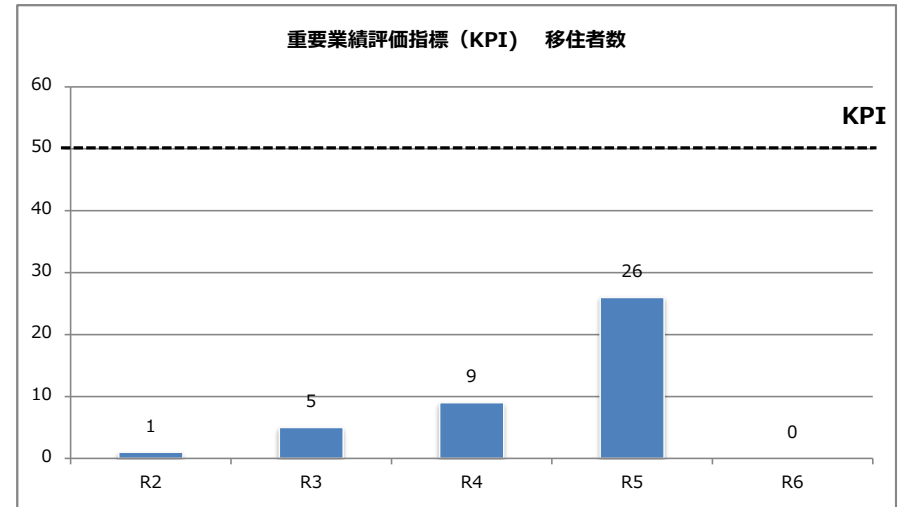
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	10	20	30	40	50
実績値（人）	1	5	9	26	
目標に対する達成率	10.0%	25.0%	30.0%	65.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	○	○	○	○	
目標 [PLAN]	本村の移住先としての魅力をPRするため、様々な機会や媒体を通じた積極的な情報発信を行います。また、本村への移住を希望・検討する人に対する相談や移住環境の整備、移住希望者等を対象としたイベントの開催や情報発信等による支援の充実に努めます。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	<ul style="list-style-type: none"> 空き家バンク利用者の移住相談が増加傾向であり、今年度は17名の方が移住されています。一方、移住相談会での相談者は27名で、そのうち移住した方は1名です。引き続き、村の魅力を発信し、相談件数等の増加に努めます。 地域おこし協力隊員により、移住者と住民の交流の場となる移住者交流会（3回）及びおとな保育園（2回）を開催しました。 				
分析 [CHECK]	<ul style="list-style-type: none"> 移住者の住居候補となる「空き家」をできるだけ多く案内することで、移住先の選択肢の増加につながり、結果的に移住者が増加する形となっています。 村の魅力発信を十分行えていないせいか、相談会での相談者が少ない状況です。 移住者交流会、おとな保育園の参加者からは、好評をいただいています。 				
対応方針 [ACTION]	<ul style="list-style-type: none"> 空き家バンク登録件数の増加を目指します。 SNS等の多様な媒体を活用して積極的な村のPR活動を実施するとともに、イベント等を通して村と深い繋がりを持った関係人口を生み出すことを目指します。 村に移住した方同士が悩み等を共有するコミュニティを設けることで、安心して移住していただける環境づくりに努めます。 				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	○ ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-③ 移住に向けた支援・情報発信の充実
担当課	定住支援室
重要業績評価指標（KPI）目標値	空き家バンク活用による契約件数 21件
現状値	0件

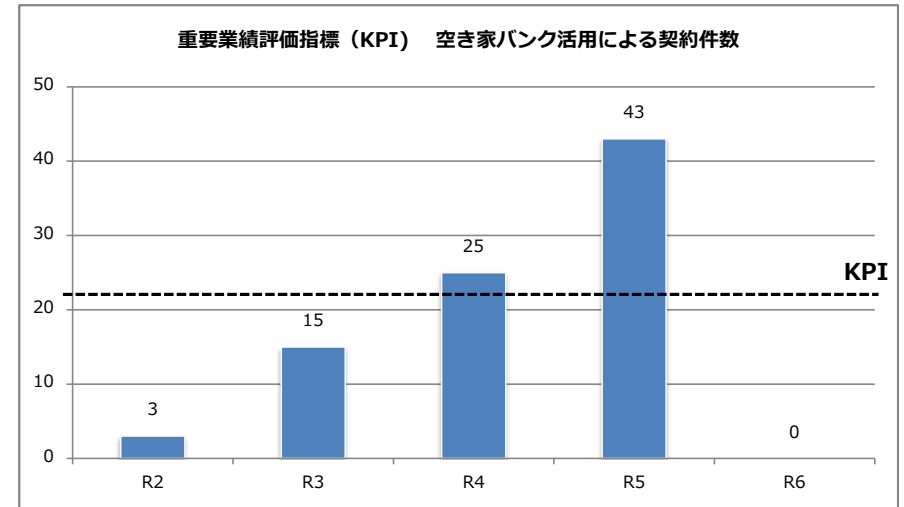
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	4	8	12	16	21
実績値（件）	3	15	25	43	
目標に対する達成率	75.0%	187.5%	208.3%	268.8%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	○	◎	◎	◎	
目標 [PLAN]	本村の移住先としての魅力をPRするため、様々な機会や媒体を通じた積極的な情報発信を行います。また、本村への移住を希望・検討する人に対する相談や移住環境の整備、移住希望者等を対象としたイベントの開催や情報発信等によりの支援の充実を図ります。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	<ul style="list-style-type: none"> 空き家バンク新規登録件数⇒R3:13戸、R4:16戸、R5:17戸（見込み） 成約件数⇒R3:12戸、R4:10戸、R5:18戸（見込み） 				
分析 [CHECK]	<ul style="list-style-type: none"> 過去最高の登録件数であった昨年度を上回る17戸の登録見込みの状況で、成約件数も同様に過去最高の18戸の見込みです。今年度4月から地域おこし協力隊1名を採用し、空き家対策に対して積極的に取組んだ結果であると思われます。 				
対応方針 [ACTION]	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き空き家バンク登録数の増加を図るとともに、空き家を活用した事業を展開することで新たな活用方法を提案し、成約数の増加を図ります。 各地区の空き家状況調査を実施します。 				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-④ 移住・定住につながる居住環境の整備・充実
担当課	定住支援室
重要業績評価指標（KPI）目標値	定住・移住補助制度利用件数 14件
現状値	0件

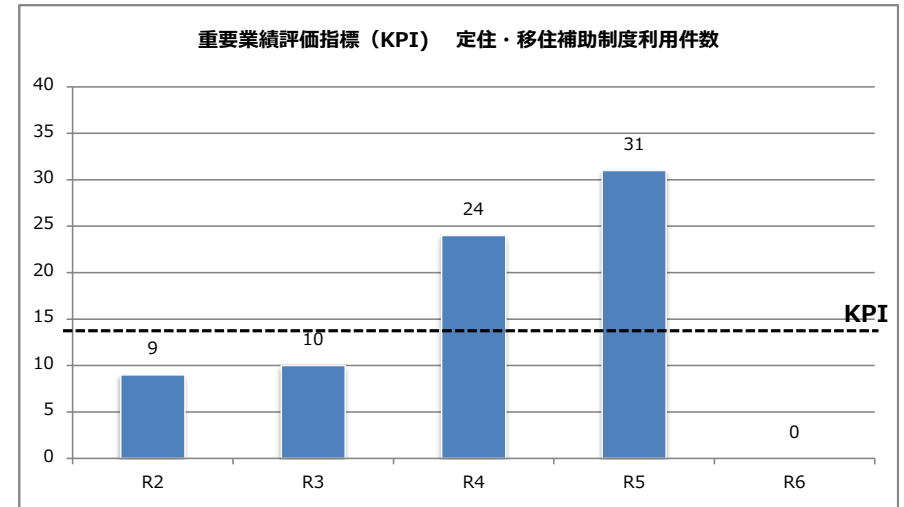
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	3	6	9	12	14
実績値（件）	9	10	24	31	
目標に対する達成率	300.0%	166.7%	266.7%	258.3%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	◎	◎	◎	◎	
目標 [PLAN]	定住につながる新規住宅建設に対する融資利子補給や、村外からの移住者に対する補助制度の充実、就農希望者の居住環境の確保に努めるほか、村営住宅や宅地造成を促進します。また、過ごしやすい季節のみを暮らす二地域居住や、農作業研修をはじめ、期間限定で本村での生活を体験できるおためし居住の機会と環境整備を行い、移住を促進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	・今年度も移住者、建築予定者等に口頭、メール、村広報紙等による補助制度の積極的な周知を行うことで、定住促進に努めました。				
分析 [CHECK]	・今年度の申請件数は7件で、昨年比で7件減の結果であったため、PR方法や補助金額の見直し等を含め検討する必要があります。				
対応方針 [ACTION]	・今年度の申請数を上回るよう、関係者に対し制度周知を引き続き継続します。 ・移住希望者がどのような支援を求めているのかを把握し、定住者を厚く支援する村として認知していただけるよう工夫します。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-④ 移住・定住につながる居住環境の整備・充実
担当課	定住支援室
重要業績評価指標（KPI）目標値	移住体験住宅 2戸
現状値	2戸（R元年度）

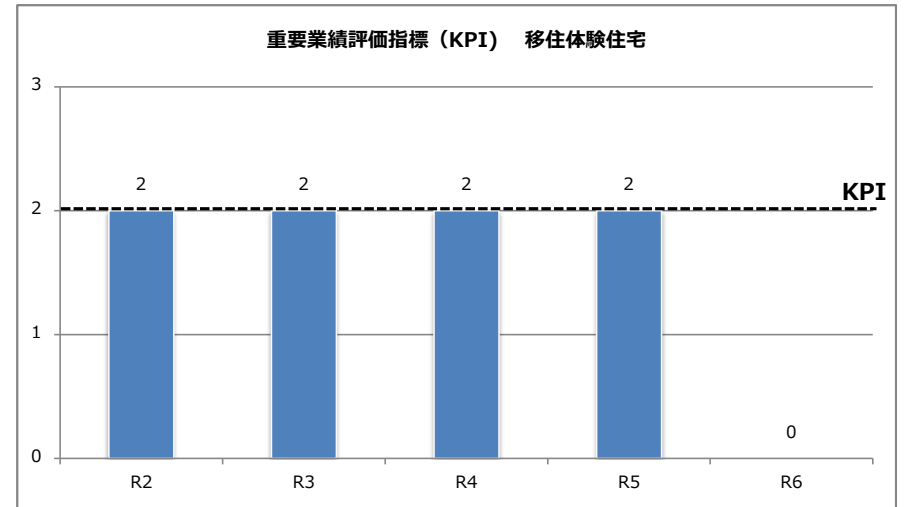
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（戸）	2	2	2	2	2
実績値（戸）	2	2	2	2	
目標に対する達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
現状値に対する増減率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
評価	◎	◎	◎	◎	
目標 [PLAN]	定住につながる新規住宅建設に対する融資利子補給や、村外からの移住者に対する補助制度の充実、就農希望者の居住環境の確保に努めるほか、村営住宅や宅地造成を促進します。また、過ごしやすい季節のみを暮らす二地域居住や、農作業研修をはじめ、期間限定で本村での生活を体験できるおためし居住の機会と環境整備を行い、移住を促進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	・相談会等の場で施設の紹介を行い利用の推進に努めた結果、今年度は14件の利用がありました。施設を利用していただき、村内の状況を肌で感じていただく機会として活用することができました。				
分析 [CHECK]	・利用者の予約が重複する状況ではないため、今のところ施設の追加整備の必要性は低いように思われます。				
対応方針 [ACTION]	<ul style="list-style-type: none"> ・各種媒体を用いた村のPRの際に、移住体験施設としての紹介と利用の推奨を行うことで、利用者数の向上を図ります。 ・利用いただきやすいよう、施設の環境整備に努めます。 				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-④ 移住・定住につながる居住環境の整備・充実
担当課	定住支援室
重要業績評価指標（KPI）目標値	村営住宅戸数 42戸
現状値	40戸（R元年度）

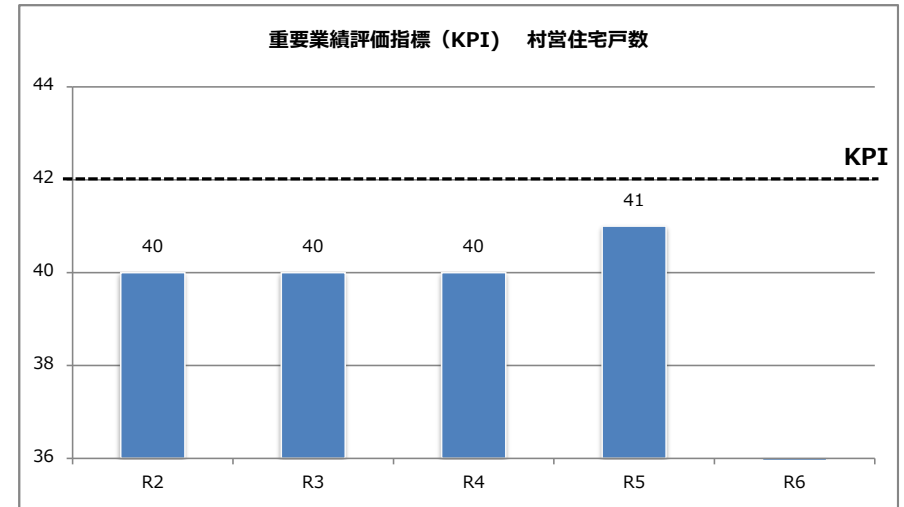
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（戸）	40	40	40	40	42
実績値（戸）	40	40	40	41	
目標に対する達成率	100.0%	100.0%	100.0%	102.5%	0.0%
現状値に対する増減率	100.0%	100.0%	100.0%	102.5%	0.0%
評価	◎	◎	◎	◎	
目標 [PLAN]	定住につながる新規住宅建設に対する融資利子補給や、村外からの移住者に対する補助制度の充実、就農希望者の居住環境の確保に努めるほか、村営住宅や宅地造成を促進します。また、過ごしやすい季節のみを暮らす二地域居住や、農作業研修をはじめ、期間限定で本村での生活を体験できるおためし居住の機会と環境整備を行い、移住を促進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	<ul style="list-style-type: none"> 居住環境の整備を進めるため、令和3年度に策定した村営住宅等長寿命化計画に基づいて、給湯器の交換等修繕工事を施工しました。 空き家を活用した、空き家活用住宅（松原）を1棟整備し、村営住宅としての利用を始めました。 				
分析 [CHECK]	<ul style="list-style-type: none"> 村営住宅の新設にあたっては、多額の費用を要すことから建設用地の選定から慎重に進める必要があります。 今年度初めて、空き家を活用した住宅1棟を整備しましたが、移住者が求める賃貸住宅が少ない本村では、有効な手段ではないかと考えています。 				
対応方針 [ACTION]	<ul style="list-style-type: none"> 村営住宅の新設にあたっては、財源を確保しながら、建設用地の選定から慎重に進めていきます。 空き家活用住宅の整備を継続して実施します。 				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	若い年代の世帯が居住することのできる賃貸物件の整備が求められる。
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-④ 移住・定住につながる居住環境の整備・充実
担当課	定住支援室
重要業績評価指標（KPI）目標値	宅地造成件数 1件
現状値	0件（R元年度）

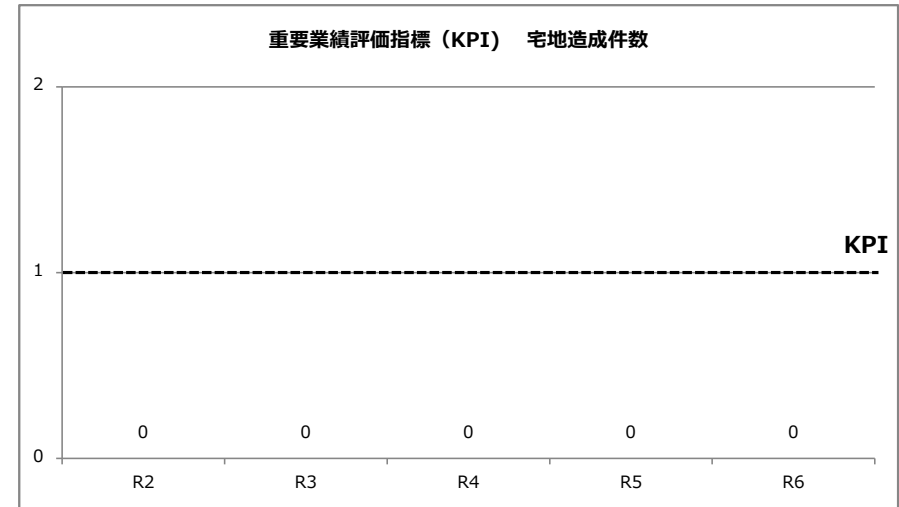
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	0	0	0	0	1
実績値（件）	0	0	0	0	
目標に対する達成率	-	-	-		0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	-	-	-	-	
目標 [PLAN]	定住につながる新規住宅建設に対する融資利子補給や、村外からの移住者に対する補助制度の充実、就農希望者の居住環境の確保に努めるほか、村営住宅や宅地造成を促進します。また、過ごしやすい季節のみを暮らす二地域居住や、農作業研修をはじめ、期間限定で本村での生活を体験できるおためし居住の機会と環境整備を行い、移住を促進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	・造成適地の選定など検討を行っていますが、決定までには至っておりません。				
分析 [CHECK]	・宅地分譲希望者にとって良好な居住環境となる宅地造成候補地を検討するにあたっては、生活の利便性をはじめ、造成経費が高額とならない地形や上下水道接続の容易性のほか、国庫補助事業の有無や村営住宅併設の検討、行政の許認可など、様々な手続き等が必要となります。				
対応方針 [ACTION]	・宅地造成事業については、長期的な計画であり、時間と多額な費用が必要となるため、継続して不動産、建築業などの専門家の意見を聞く中で、事業実施に向けて進めます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	- 目標値、事業の見直し等が必要

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-⑤ 地域おこし協力隊の活用・育成
担当課	総務課
重要業績評価指標（KPI）目標値	地域おこし協力隊員数 5人
現状値	0人（R元年度）

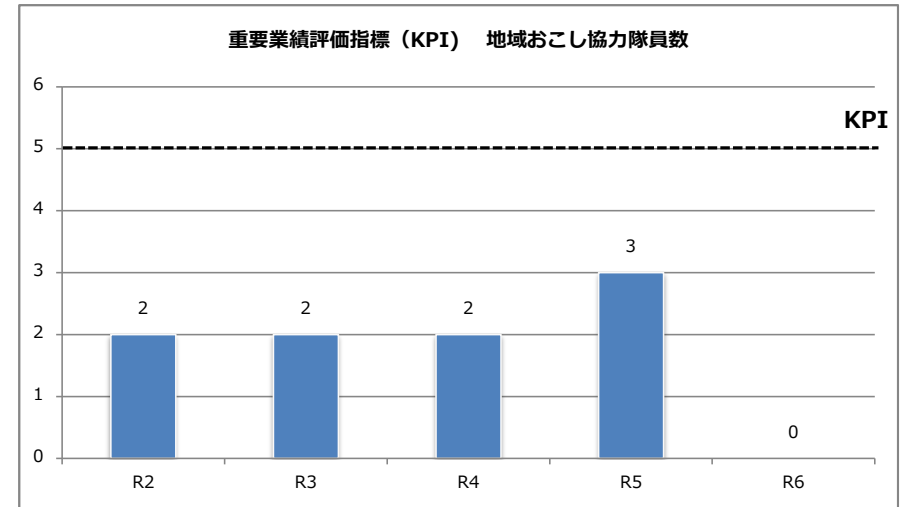
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	1	2	3	4	5
実績値（人）	2	2	2	3	
目標に対する達成率	200.0%	100.0%	66.7%	75.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	◎	◎	○	○	
目標 [PLAN]	一定期間、地域に居住して地域おこしの支援や住民の生活支援を行い、地域への定住・定着を促す「地域おこし協力隊」の積極的な活用を図ります。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	令和5年度に新たに定住支援業務等に従事する隊員を採用しました。空き家活用のための不用品フリーマーケットや、移住者交流会等のイベントを実施しました。また、他の隊員も観光パンフレットの制作や、高校生によるバス停リニューアル等村のPR事業を実施しました。				
分析 [CHECK]	移住定住に関連する情報を頻繁にSNSで公開する等、職員だけでは対応しきれない業務を担っています。また、新たに実施しているイベントは計7回、延べ参加者数は573人となり、村民と関係人口との交流が活発となっています。				
対応方針 [ACTION]	卒隊が間近となっている隊員には、住居や仕事等の相談を受けるなど支援を行います。移住定住に関する事業については、日ごろから相談しやすい体制・雰囲気を作り、隊員のアイデアを実現できるよう支援します。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	○ ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	2 むらへの新しいひとの流れをつくる
主な施策	2-⑥ 「関係人口」の創出・拡大
担当課	総務課
重要業績評価指標（KPI）目標値	ふるさと納税寄附金額 40,000千円
現状値	23,000 千円（R元年度）

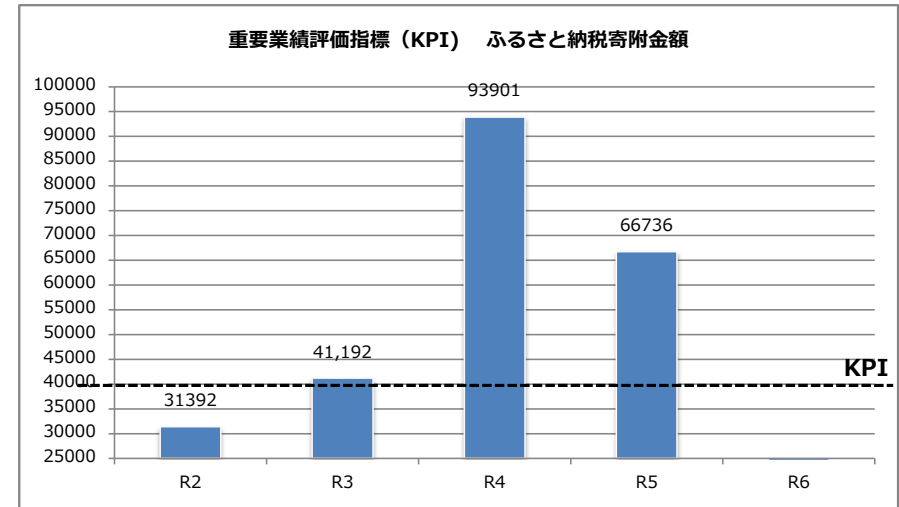
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（千円）	26,400	29,800	33,200	36,600	40,000
実績値（千円）	31,392	41,192	93,901	66,736	
目標に対する達成率	118.9%	138.2%	282.8%	182.3%	0.0%
現状値に対する増減率	136.5%	179.1%	408.3%	290.2%	0.0%
評価	◎	◎	◎	◎	
目標 [PLAN]	多くの人が本村に関心を寄せ、本村との関わりを持ち、継続的に多様な形で本村と関わる「関係人口」の創出・拡大に向けて、そのきっかけとしての着地型観光や体験就農の推進、ふるさと納税制度によるふるさと寄附金の受入れ等の取組みを推進します。				
実績（具体的な取組内容） [DO]	新たに「ふるさとチョイス」での受付を開始しました。しかしながら、今年度は初めて前年を下回る結果となる見込みです。 【実績額】 R 5（見込）：66,736千円、R 4：93,901千円、R 3：41,192千円、R 2：31,192千円				
分析 [CHECK]	寄附金額が減少した要因の詳細な分析はできていませんが、希望のあった返礼品の半分を占めるぶどうの予約開始時期が3ヶ月ほど遅れたことが影響したものと考えています。また、国による制度運用の厳格化の対応に追われるなど、新たな返礼品の出品等寄附金額の増加に向けた取組みを強化できませんでした。				
対応方針 [ACTION]	関連経費を寄附金収入額の50%にするため、業務委託の見直しを行うとともに、新たな返礼品を出品するため、事業者への説明を行うなどの取組みを強化します。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
主な施策	
担当課	健康福祉課
重要業績評価指標（KPI）目標値	合計特殊出生率 1.84
現状値	1.12（H27～R元平均）

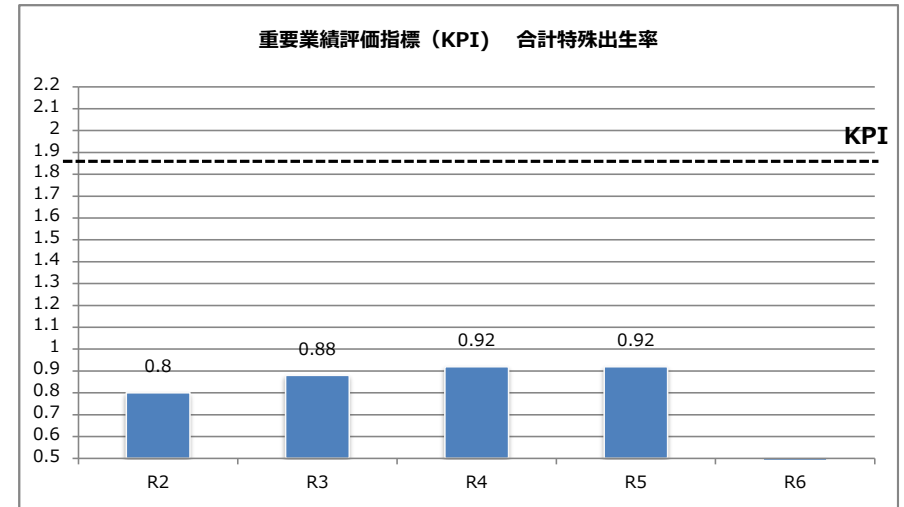
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	1.84	1.84	1.84	1.84	1.84
実績値	0.80	0.88	0.92	0.92	
目標に対する達成率	43.5%	47.8%	50.0%	50.0%	0.0%
現状値に対する増減率	71.4%	78.6%	82.1%	82.1%	0.0%
評価	△	△	△	△	
目標 [PLAN]	出会いの場の創出や妊娠期からの切れ目のない包括的な支援、地域ぐるみの子育て支援や子育てにかかる経済的負担の軽減を図り、本村で子どもを産み育てたいという希望を持ち、実現させるための支援を充実します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	県と連携した結婚相談事業の実施や、結婚祝金（婚姻届提出後1年以上村に定住・20万円）や出産祝金（第1子3万円、第2子5万円、第3子以降7万円）並びに家庭育児給付金（3歳未満児・商品券2万円）の支給、福祉医療費として18歳までの医療費の無料化を実施しました。 北信6社会福祉協議会の合同による婚活イベントの開催、村商工会の主催による恋コン、長野地域中枢連携都市圏による婚活イベントを須坂・高山地域で計画出来ました。（連携中枢は中止）				
分析 [CHECK]	出生率の低下や非婚化・晩婚化・少子化、あるいはコロナ禍による出会いの機会の減少なども一つの要因として考えられます。				
対応方針 [ACTION]	現在取り組んでいる事業の継続と、結婚支援にあたっては相談事業の充実や長野地域中枢連携都市圏による婚活イベント事業の活用等により、広域的な出会いの場や機会の創出を引き続き推進していきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
主な施策	
担当課	健康福祉課
重要業績評価指標（KPI）目標値	年間出生数 46人
現状値	34人（H27～R元平均）

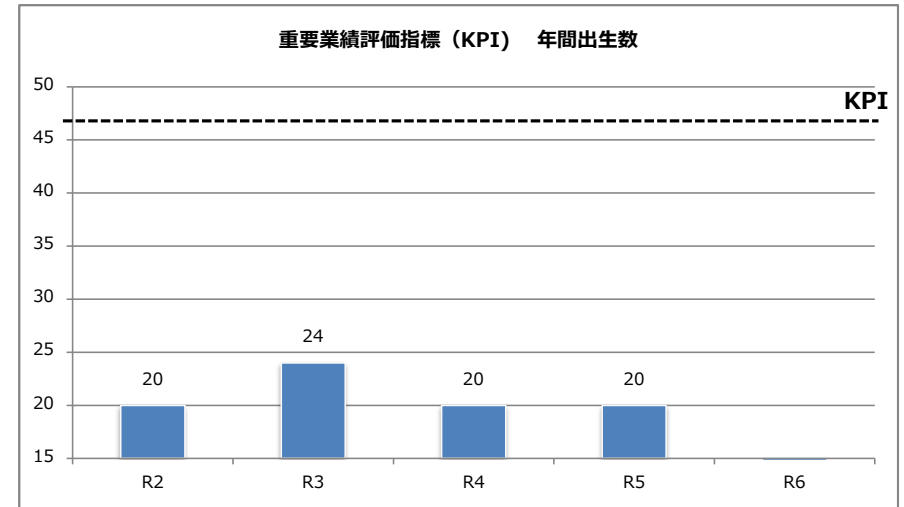
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	46	46	46	46	46
実績値（人）	20	24	20	20	
目標に対する達成率	43.5%	52.2%	43.5%	43.5%	0.0%
現状値に対する増減率	58.8%	70.6%	58.8%	58.8%	0.0%
評価	△	△	△	△	
目標 [PLAN]	出会いの場の創出や妊娠期からの切れ目のない包括的な支援、地域ぐるみの子育て支援や子育てにかかる経済的負担の軽減を図り、本村で子どもを産み育てたいという希望を持ち、実現させるための支援を充実します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	県と連携した結婚相談事業の実施や、結婚祝金（婚姻届提出後1年以上村に定住・20万円）や出産祝金（第1子3万円、第2子5万円、第3子以降7万円）並びに家庭育児給付金（3歳未満児・商品券2万円）の支給、福祉医療費として18歳までの医療費の無料化を実施しました。 北信6社会福祉協議会の合同による婚活イベントの開催、村商工会の主催による恋コン、長野地域中枢連携都市圏による婚活イベントを須坂・高山地域で計画出来ました。（連携中枢は中止）				
分析 [CHECK]	出生率の低下や非婚化・晩婚化・少子化、あるいはコロナ禍による出会いの機会の減少なども一つの要因として考えられます。				
対応方針 [ACTION]	現在取り組んでいる事業の継続と、結婚支援にあたっては相談事業の充実や長野地域中枢連携都市圏による婚活イベント事業の活用等により、広域的な出会いの場や機会の創出を引き続き推進していきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
主な施策	3-④ 結婚支援の充実
担当課	健康福祉課
重要業績評価指標（KPI）目標値	婚姻件数 20件（R2～R6平均）
現状値	15件（H27～R元平均）

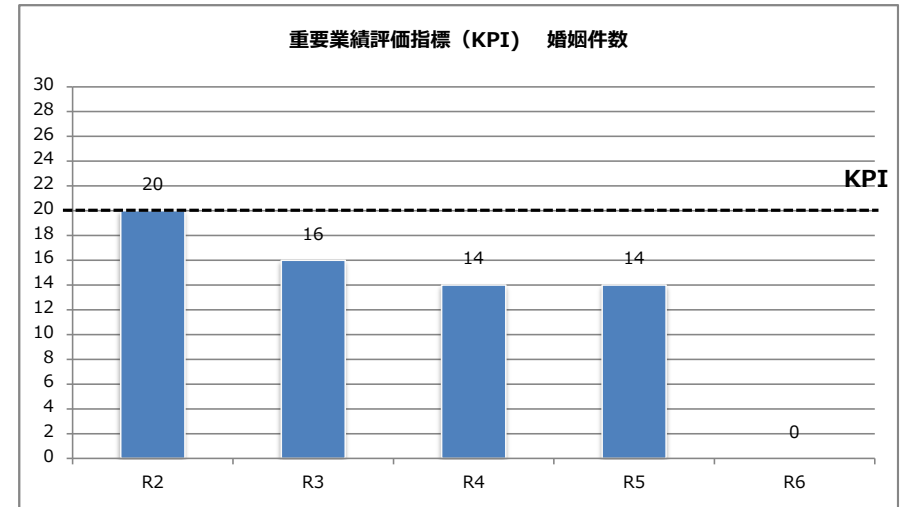
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	20	20	20	20	20
実績値（件）	20	16	14	14	
目標に対する達成率	100.0%	80.0%	70.0%	70.0%	0.0%
現状値に対する増減率	133.3%	106.7%	93.3%	93.3%	0.0%
評価	◎	○	△	△	
目標 [PLAN]	結婚希望者に出会いの場を創出するため、他自治体や企業等との連携による婚活イベント等の実施により多数の参加を促すとともに、マリッジサポーター等による結婚相談支援の充実を図ります。また、結婚に要する経済的負担を軽減するための結婚祝金を支給し、結婚を支援します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	県と連携した結婚相談事業の実施や、結婚祝金（婚姻届提出後1年以上村に定住・20万円）や出産祝金（第1子3万円、第2子5万円、第3子以降7万円）並びに家庭育児給付金（3歳未満児・商品券2万円）の支給、福祉医療費として18歳までの医療費の無料化を実施しました。 北信6社会福祉協議会の合同による婚活イベントの開催、村商工会の主催による恋コン、長野地域中枢連携都市圏による婚活イベントを須坂・高山地域で計画出来ました。（連携中枢は中止）				
分析 [CHECK]	出生率の低下や非婚化・晩婚化・少子化、あるいはコロナ禍による出会いの機会の減少なども一つの要因として考えられます。				
対応方針 [ACTION]	現在取り組んでいる事業の継続と、結婚支援にあたっては相談事業の充実や長野地域中枢連携都市圏による婚活イベント事業の活用等により、広域的な出会いの場や機会の創出を引き続き推進していきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
主な施策	3-④ 結婚支援の充実
担当課	健康福祉課
重要業績評価指標（KPI）目標値	結婚支援イベント開催件数 15件
現状値	10件（H27～R元）

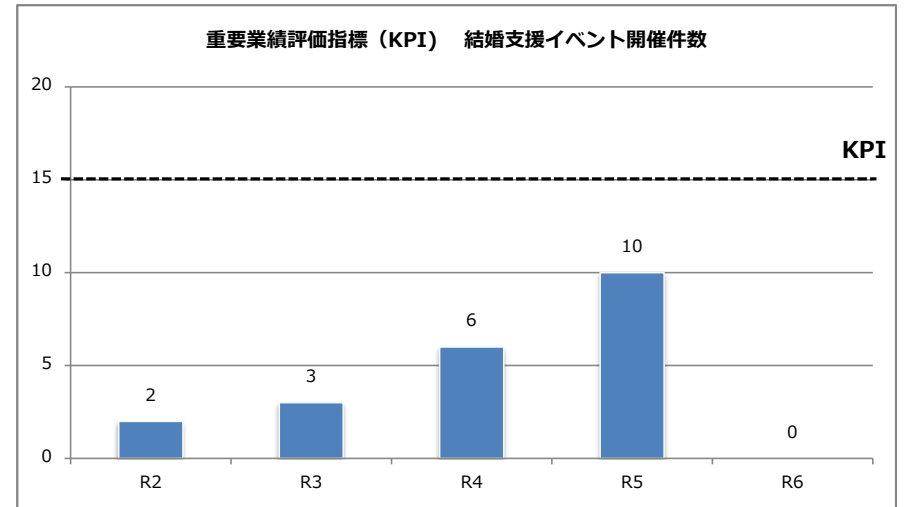
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	3	6	9	12	15
実績値（件）	2	3	6	10	
目標に対する達成率	66.7%	50.0%	66.7%	83.3%	0.0%
現状値に対する増減率	20.0%	30.0%	60.0%	100.0%	0.0%
評価	○	○	○	△	
目標 [PLAN]	結婚希望者に出会いの場を創出するため、他自治体や企業等との連携による婚活イベント等の実施により多数の参加を促すとともに、マリッジサポーター等による結婚相談支援の充実を図ります。また、結婚に要する経済的負担を軽減するための結婚祝金を支給し、結婚を支援します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	北信6社会福祉協議会の合同婚活イベントを開催し、村商工会の婚活イベント（恋コン）及び長野地域連携中枢都市圏結婚支援事業による移住婚活ツアーは、2行程での企画を行い開催することが出来ました。				
分析 [CHECK]	村商工会主催のイベントでは、小規模で交流しやすい内容に工夫していただき、また、長野地域連携中枢都市圏結婚支援事業のツアーにおいては、開催日を2日間に分け、地域の特色を生かした企画で開催することが出来ました。				
対応方針 [ACTION]	今後も地域の特色を生かした企画を検討し、参加しやすいイベント開催を行っていく必要があります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
主な施策	3-④ 結婚支援の充実
担当課	健康福祉課
重要業績評価指標（KPI）目標値	結婚支援イベント参加者数 35人（R2～R6平均）
現状値	26人（H27～R元平均）

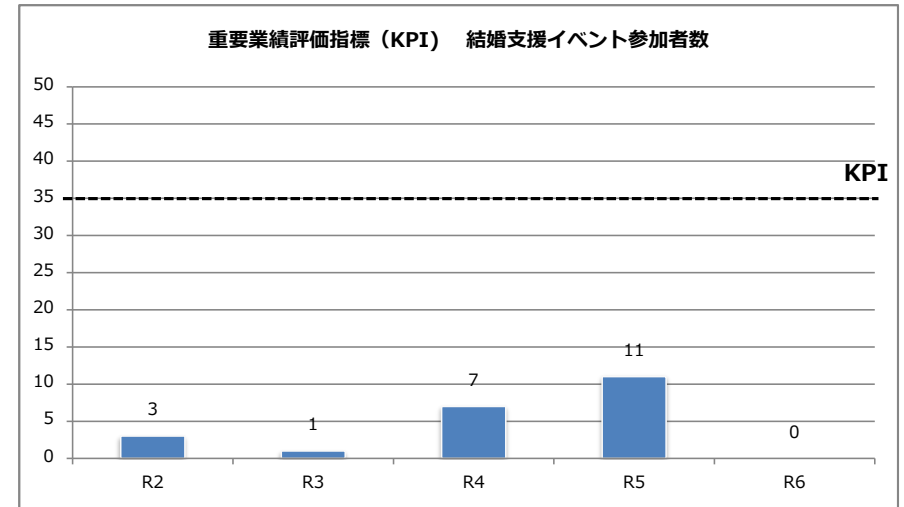
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	35	35	35	35	35
実績値（人）	3	1	7	11	
目標に対する達成率	8.6%	2.9%	20.0%	31.4%	0.0%
現状値に対する増減率	11.5%	3.8%	26.9%	42.3%	0.0%
評価	△	△	△	△	
目標 [PLAN]	結婚希望者に出会いの場を創出するため、他自治体や企業等との連携による婚活イベント等の実施により多数の参加を促すとともに、マリッジサポーター等による結婚相談支援の充実を図ります。また、結婚に要する経済的負担を軽減するための結婚祝金を支給し、結婚を支援します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	北信6社会福祉協議会の合同婚活イベントを開催し、村商工会の婚活イベント（恋コン）及び長野地域連携中枢都市圏結婚支援事業による移住婚活ツアーは、2行程での企画を行い開催することが出来ました。				
分析 [CHECK]	村商工会主催のイベントでは、小規模で交流しやすい内容に工夫していただき、また、長野地域連携中枢都市圏結婚支援事業のツアーにおいては、開催日を2日間に分け、地域の特色を生かした企画で開催することが出来ました。				
対応方針 [ACTION]	今後も地域の特色を生かした企画を検討し、参加しやすいイベント開催を行っていく必要があります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
主な施策	3-② 妊娠・出産支援の充実
担当課	住民税務課
重要業績評価指標（KPI）目標値	出産祝金支給件数 46件
現状値	30件（R元年度）

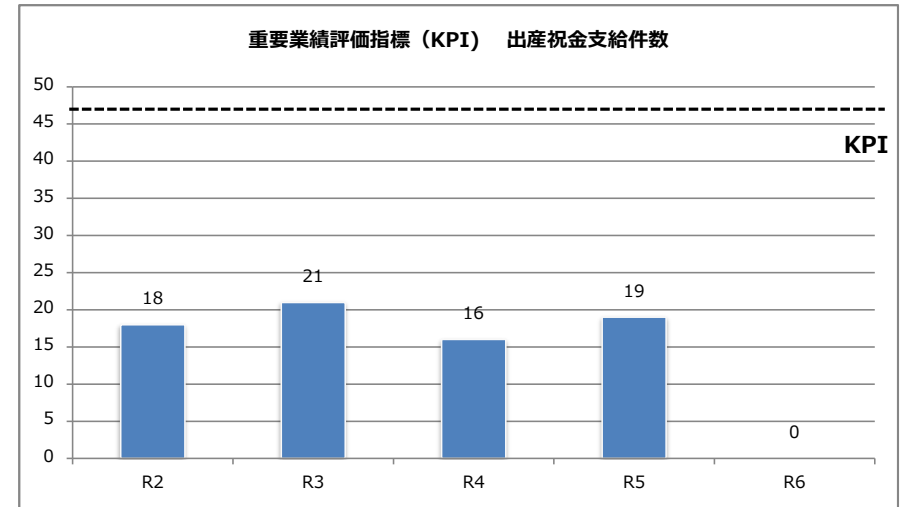
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	33	36	39	42	46
実績値（件）	18	21	16	19	
目標に対する達成率	54.5%	58.3%	41.0%	45.2%	0.0%
現状値に対する増減率	60.0%	70.0%	53.3%	63.3%	0.0%
評価	△	△	△	△	
目標 [PLAN]	妊娠・出産期から子育て期にわたる切れ目のない相談支援体制の強化と母子保健の充実を図ります。また、希望する妊娠がかなうための支援の充実を図るとともに、安心して出産できるよう、関係機関等との連携による周産期医療体制の充実及び出産にかかる経済的負担の軽減を図ります。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	福祉医療費として18歳までの医療費の助成を図り、また、出産祝金（第1子3万円、第2子5万円、第3子以降7万円）や家庭育児に対する商品券の給付（2万円）を継続実施しました。さらに令和5年度からは、満4歳未満の乳幼児に対しおむつの購入助成（年24,000円限度）を行いました。				
分析 [CHECK]	各種制度について広報紙への記載、届出等の際の窓口での案内、該当者へ個別の勧奨通知を実施するとともに、制度の適正な運用を図ることで、経済的支援の充実につながるものと考えております。				
対応方針 [ACTION]	現行制度を維持し、状況に応じて見直し等を図りながら効果的な制度としていく中で、積極的な周知と利用促進を図ります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
主な施策	3-③ 子育てしやすい環境の充実
担当課	教育委員会
重要業績評価指標（KPI）目標値	子育てしやすい環境の充実 50.0%
現状値	38.6 % （H30年度）

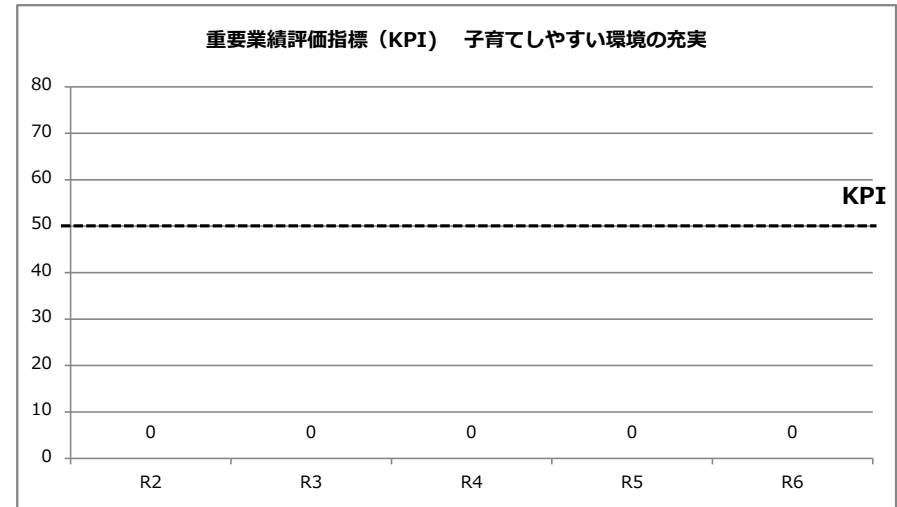
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（%）					50.0
実績値（%）					
目標に対する達成率					0.0%
現状値に対する増減率					0.0%
評価					
目標 [PLAN]	拡充整備された子育て支援センターのさらなる利用促進や放課後の子どもの居場所づくり、子育て家庭同士が気軽に集い、交流できる場の充実に努めます。 また、就労意向の高まりに対応し、仕事と子育ての両立を支援するための環境整備を推進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	登録した会員同士が支え合うファミリー・サポート・センターの事業では会員登録者を増やし、環境が整ってきています。協議会も開催し、会員の声を聞いたり、救命講習会を実施することができました。 たかやま保育園での一時保育では、2月末で延べ915人に利用していただいています。 児童クラブ及び学童保育聖徳園においては、2月末で延べ1,263人に利用していただいています。				
分析 [CHECK]	仕事と子育ての両立を支援するために、育児休業の延長取得や保育園での一時保育について案内するなど、育児休業から仕事へ復帰する保護者の相談に応じることができました。				
対応方針 [ACTION]	ファミリー・サポート・センターについて引き続き、保育園・小学校でチラシの配布をし、広く周知していきます。親子が利用しやすい施設作りを心掛け、気軽に集い、交流ができ、安心して子育てができる場としての支援事業の実施を進めるとともに、児童クラブ及び学童保育聖徳園が仕事を持つ保護者の支援につながるよう、更なる環境整備を促進していきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	英語の語学力が向上するように、児童クラブ等にネイティブスピーカーを配置するなど、子どもが自然に英語に触れる機会を設けてほしい。
総合評価	

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
主な施策	3-③ 子育てしやすい環境の充実
担当課	教育委員会
重要業績評価指標（KPI）目標値	子育て支援センターわくわく・遊びの広場参加者数 3,800人
現状値	3,472 人（R元年度）

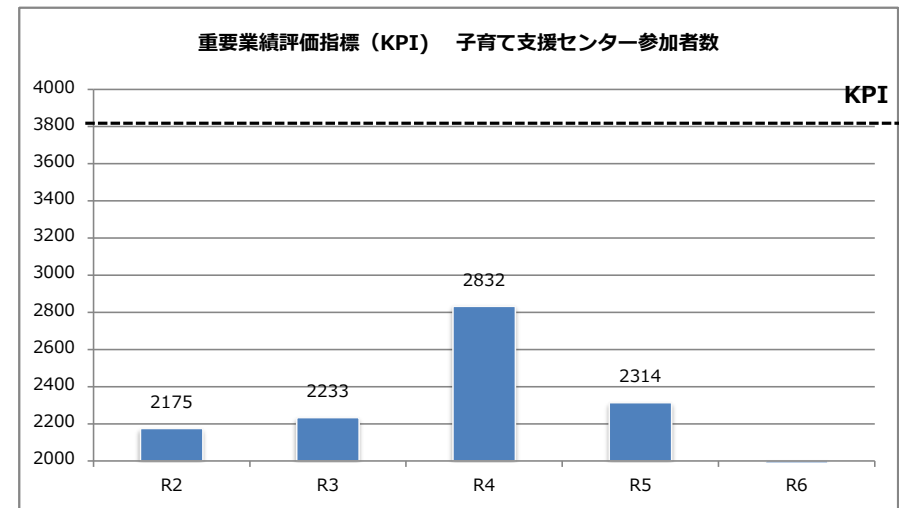
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	3,537	3,602	3,667	3,732	3,800
実績値（人）	2,175	2,233	2,832	2,314	
目標に対する達成率	61.5%	62.0%	77.2%	62.0%	0.0%
現状値に対する増減率	62.6%	64.3%	81.6%	66.6%	0.0%
評価	△	△	△	△	
目標 [PLAN]	拡充整備された子育て支援センターのさらなる利用促進や放課後の子どもの居場所づくり、子育て家庭同士が気軽に集い、交流できる場の充実に努めます。また、就労意向の高まりに対応し、仕事と子育ての両立を支援するための環境整備を推進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	今年度は5月のコロナウイルス5類移行に伴い、村外の親子の利用も可能になりました。その影響で村外の方がホームページを見て来所したり、帰省の際の利用も増えました。子育てセミナーは子育て世代が興味や関心もてるような内容で、外部講師を迎えて開催し、利用促進を図ります。3月末で2,314人の利用となる見込んでいます。				
分析 [CHECK]	育休制度が整ってきていることもあり、未満児から保育園に預ける子が増え、子育て支援センターの利用者が減っているような現状です。子育てセミナーも外部講師を迎えて開催しましたが、利用率は上りませんでした。併設の子育て世代包括支援センターには保健師が常駐しているので、相談しやすい環境を構築できました。				
対応方針 [ACTION]	ホームページで子育て支援センターについて詳しく紹介し、閲覧した人が利用しやすくなるような工夫をします。また、併設の子育て世代包括支援センターに保健師が常駐しているため、体重測定や育児相談が気軽にできることをアピールしていきます。				
備考	子ども・子育て支援交付金				

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
－	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
－	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
主な施策	3-④ 子育て世帯への経済的支援の充実
担当課	教育委員会
重要業績評価指標（KPI）目標値	少子化対策（経済的支援）に対する満足度 50.0%
現状値	38.6 % （H30年度）

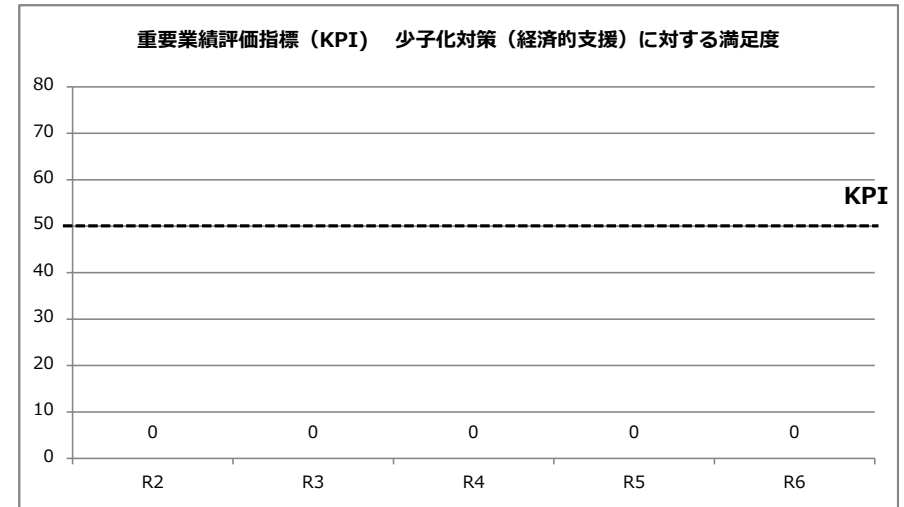
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（%）					50.0
実績値（%）					
目標に対する達成率					0.0%
現状値に対する増減率					0.0%
評価					
目標 [PLAN]	子育て世帯のニーズ把握に努めるとともに、各種手当等の制度の周知と利用促進を通じて、出産・育児や保育・学校教育等にかかる経済的支援の更なる充実を図ります。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	令和元年10月から3歳以上の子どもの保育料と、3歳未満児の非課税世帯の保育料は無償とするとともに、全ての児童の副食費を無料とするなど子育て世帯の費用負担軽減を図りました。また、小中学校の入学祝金1人当たり1万円の交付を行うとともに、令和2年度から非課税世帯の学校給食費は無料とし、その他の世帯は保護者負担の1食161円を公費負担としました。平成30年度からは公共バスを利用している高校生の通学費補助を実施しています。また、子育て世帯電力等価格高騰重点支援交付金を活用し、18以下の子ども1人あたり4万円を支給しました。				
分析 [CHECK]	各種制度について広報紙やホームページへの掲載、窓口での説明、該当者への制度説明会の開催、転入者への説明を実施するとともに、制度の適正な運用を図っており、経済的支援の充実に資するものと考えています。				
対応方針 [ACTION]	学校給食費の公費負担については、今後も世帯の経済的支援を継続・拡大をしていく必要があります。				
備考	高山村実費徴収に係る補足給付事業補助金 高山村高校生通学費補助金				

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	田舎ならではの知識やスキルを習得できるように、自然を活かした子育て環境の整備を行うなどして、子育てのしやすい村をPRすることが重要である。
総合評価	

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	
担当課	総務課・定住支援室
重要業績評価指標（KPI）目標値	村に住み続けたいと思う村民の割合 80.0%以上
現状値	73.4 % （H30年度）

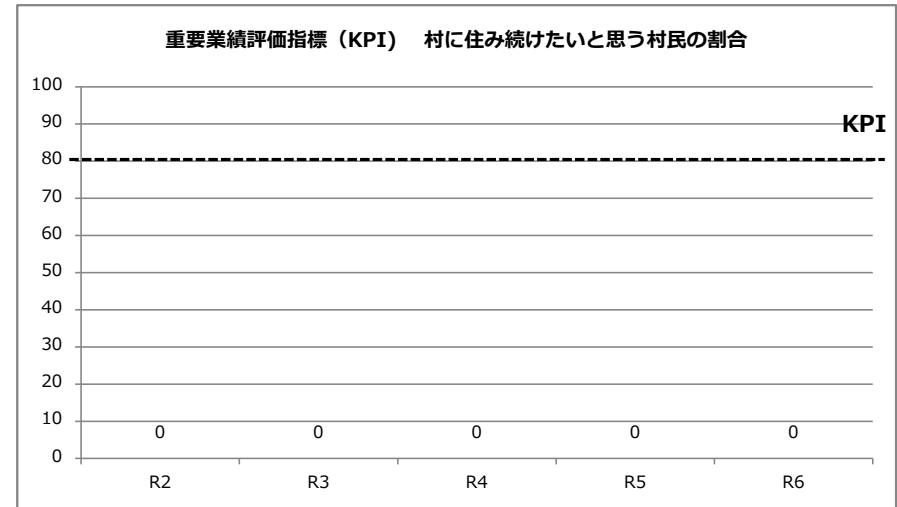
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（%）	-	-	-	-	80.0
実績値（%）	-	-	-	-	
目標に対する達成率	-	-	-	-	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	0.0%
評価	-	-	-	-	
目標 [PLAN]	美しい自然環境や農村風景を守り、潤いと利便性のある安全・安心な生活環境の確保に努めるとともに、高山村らしい文化と暮らしの中で本村への誇りを持ち、いきいきと暮らすことのできるむらづくりを推進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	11月に実施された「日本で最も美しい村」連合の再審査の結果「B」判定となったことから、引き続き連合加盟町村として魅力を発信し続けていきます。その際指摘を受けた「高山村のブランド化」を推進すべく、村民の皆様とともに村づくりを進めて参ります。				
分析 [CHECK]					
対応方針 [ACTION]					
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
-	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
-	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-④ 健康づくり・スポーツ活動の推進
担当課	健康福祉課
重要業績評価指標（KPI）目標値	YOU游ランド運動施設利用者数 11,100人
現状値	9,501人（R元年度）

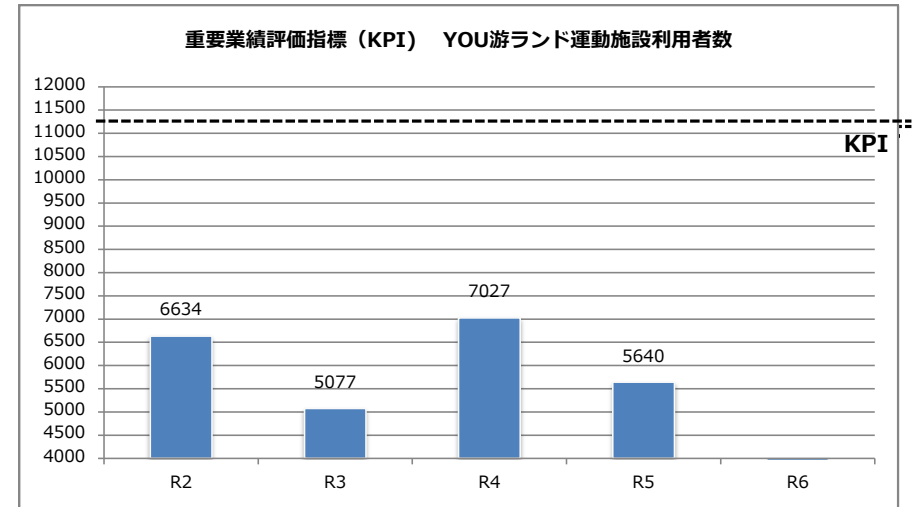
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	9,820	10,139	10,459	10,777	11,100
実績値（人）	6,634	5,077	7,027	5,640	
目標に対する達成率	67.6%	50.1%	67.2%	52.3%	0.0%
現状値に対する増減率	69.8%	53.4%	74.0%	59.4%	0.0%
評価	△	△	△	△	
目標 [PLAN]	村民の健康に対する意識づけと自らの健康状態の把握を促しつつ、本村の特色である自然や温泉、気候、食を通じた健康づくりを推進します。また、東京オリンピック・パラリンピック等をきっかけとして村民のより一層のスポーツへの関心を高めつつ、一人ひとりの体力に応じたスポーツ活動を促進します。				
実績（具体的な取組内容） [DO]	多目的ホールは、11月から翌年2月まで人工芝改修工事で使用できないため、大幅に利用者減となりました。（前年比35%の減少） マレットゴルフは、前年比13%の減少したが、その理由は把握できていません。 水中運動教室は、前年比4%の増加となっています。				
分析 [CHECK]	多目的ホールは主にゲートボール利用者が多いものの、高齢化により村ゲートボール協会の会員数が減少し総体の利用者数が減ってきているため、今後利用者数の減少が懸念されます。マレットゴルフ協会は会員数を保っているため、利用者数の大幅減はないものと思われます。水中運動教室は、個別指導の参加者が多いため、個別指導から教室への参加を促します。				
対応方針 [ACTION]	多目的ホールの人工芝改修工事で、床面が改善され利便性が向上したため、利用率の向上につながると考えています。マレットゴルフコースの一部に人工芝を設置する予定のため、環境を整えることにより利用者増を図っていきます。 水中運動教室は、イベントを開催するなどして利用者増を図っていきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	アニメやキャラクターを取り入れた施設づくりを行うなど、多くの利用者が訪れる工夫を行うべきである。
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-④ 健康づくり・スポーツ活動の推進
担当課	健康福祉課
重要業績評価指標（KPI）目標値	糖尿病及び予備群の割合 60.0%
現状値	65.8 % （R2年度）

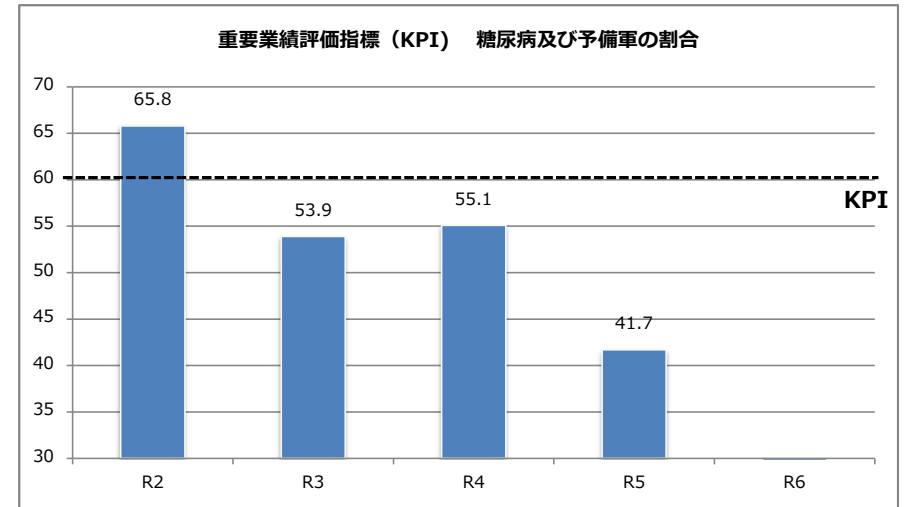
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（%）	61.2	60.9	60.6	60.3	60.0
実績値（%）	65.8	53.9	55.1	41.7	
目標に対する達成率	93.0%	113.0%	110.0%	144.6%	
現状値に対する増減率	100.0%	122.1%	119.4%	157.8%	
評価	△	◎	◎	◎	
目標 [PLAN]	村民の健康に対する意識づけと自らの健康状態の把握を促しつつ、本村の特色である自然や温泉、気候、食を通じた健康づくりを推進します。また、東京オリンピック・パラリンピック等をきっかけとして村民のより一層のスポーツへの関心を高めつつ、一人ひとりの体力に応じたスポーツ活動を促進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	ハイリスクアプローチとしては、糖尿病治療者で糖尿病性腎症のリスクが高い方に対し、保健師・栄養士がかかりつけ医と連携を図りながら、保健指導を実施しています。また、服薬に関して適切な保健指導が行えるよう、薬剤師会の支援を受けて糖尿病治療者の事例検討会を行いました。ポピュレーションアプローチとしては、糖尿病予防教室を開催し、長野市民病院糖尿病専門医の西井裕先生の講演会、保健指導、栄養指導、運動の実技を行いました。				
分析 [CHECK]	継続的に保健指導を行うことで、年々糖尿病及び予備群の割合は減少傾向にありますが、HbA1c7以上の合併症リスクが高い方の割合は減少していません。国保加入者の医療状況を見ると、40～64歳の若年層の糖尿病合併症の割合が県と比較して高くなっています。				
対応方針 [ACTION]	HbA1c7以上の方が人工透析や脳梗塞を起こさないよう、継続的に保健指導を実施していきます。また、治療中断者や未治療者の方が重症化しているため、レセプト等で受診状況を確認し、必要に応じて受診勧奨を行います。若年層に対しては、健診未受診者、医療機関未受診者が重症化しているため、健診の受診勧奨、医療機関の受診勧奨を強化していきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-② 高山村らしい文化の継承と創造
担当課	教育委員会
重要業績評価指標（KPI）目標値	文化事業参加者数 5,000人
現状値	4,200人（R元年度）

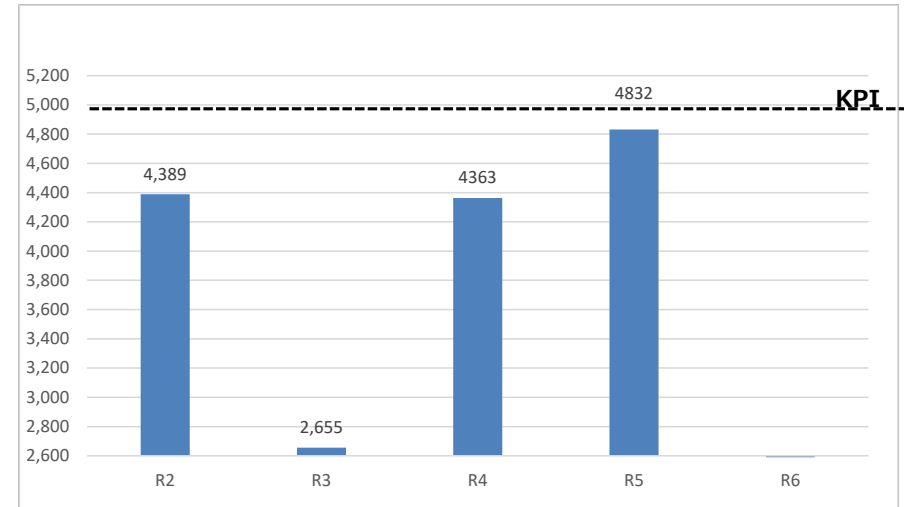
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	4,360	4,520	4,680	4,840	5,000
実績値（人）	4,389	2,655	4,363	4,832	
目標に対する達成率	100.7%	58.7%	93.2%	99.8%	0.0%
現状値に対する増減率	104.5%	63.2%	103.9%	115.0%	0.0%
評価	△	△	△	○	
目標 [PLAN]	既存の文化施設を有効に活用し、本村に伝わる民話や神楽などの伝統芸能の継承活動を推進するとともに、世界に誇れるワイン産地を目指す村としてワイン文化の醸成を図るなど、高山村らしい文化の継承と創造を推進します。また、既存の公共施設を活用しながら、ホールや図書館機能の充実を図るなど、文化交流施設の整備について検討するほか、本村に存在する貴重な文化財を継承するため、文化財指定に向けた取組みを促進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	今年度の館報たかやまに、文化協会に加盟する団体の紹介記事を掲載しています。この記事には、団体の活動を紹介するだけでなく、会員を増やすための狙いがあります。その効果もあり、新たに会員が増えた団体もあり、今後も会員が増える取組みを続けて行きたい。新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、今まで中止されてきた活動が少しずつ再開しています。開催にあたり、事前に課題を共有することにより、相乗効果を揚げられ、縮小していた活動を盛り上げる機会となっています。				
分析 [CHECK]	文化協会の会員数は、コロナ禍の影響もあり、減少している団体があります。今後、団体の会員数が増えることを検討していきます。				
対応方針 [ACTION]	地域住民が参加したくなるような、住民ニーズに応えられるような講座を開催し、集うきっかけづくりに努めます。 今後公民館の耐震改修工事が計画しているため、文化活動を継続できるよう会場の確保を検討します。世代をつなぐ、人づくり・組織づくりが必要です。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	○ ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-③ 農村風景の保全と耕作放棄地対策の推進
担当課	産業振興課
重要業績評価指標 (KPI) 目標値	耕作放棄地 50ha
現状値	55 ha (R元年度)

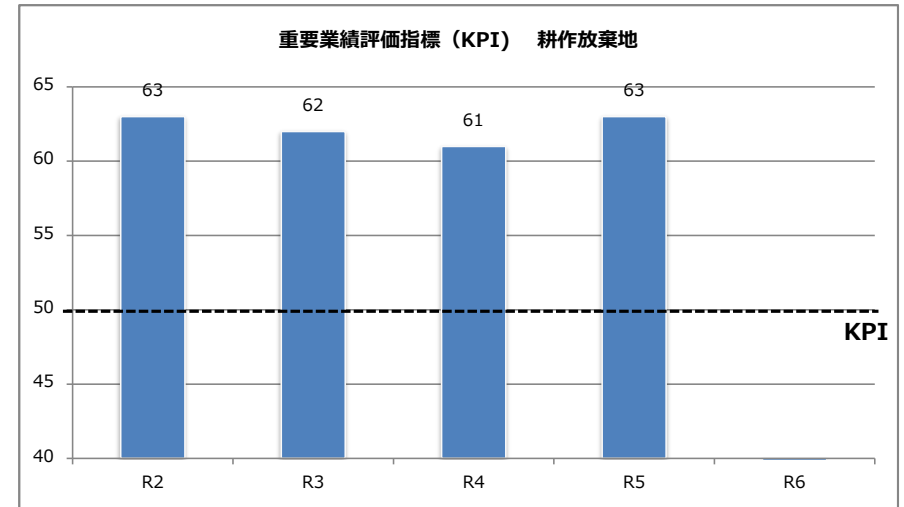
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値 (ha)	54	53	52	51	50
実績値 (ha)	63	62	61	63	
目標に対する達成率	85.7%	85.5%	85.2%	81.0%	
現状値に対する増減率	87.3%	88.7%	90.2%	0.0%	
評価	△	△	△	△	
目標 [PLAN]	本村の美しい農村風景の保全のため、農地の流動化を進めるとともに、高齢者も継続して農業経営を行えるよう、負担の少ない農作物への転換等に向けた支援の充実を図り、耕作放棄地対策を推進します。				
実績 (具体的な取組内容) [DO]	村単耕作放棄地再生対策事業 (75千円/10a) の申請は、今年度4件、面積で62aの再生がありましたが、調査実績では2ha増えてしまいました。R4に保全管理地であった所が、R5で耕作放棄地となった割合が高く、次いでR4に普通畑 (そば・野菜) であった所がR5で耕作放棄地となっています。				
分析 [CHECK]	村の補助金の活用は昨年と比べると3件増で56a増えてはいますが、高齢化による離農や農業者人口の減少はもとより、傾斜地、不整形地や周辺が山による日陰地といった理由から借り手が見つからない農地もあります。				
対応方針 [ACTION]	耕作放棄地再生補助金の活用を推進するとともに、担い手への集積活動を更に促進し、新たな耕作放棄地の発生防止を図ります。 また、現在進めている地域計画や中山間地域農業農村整備事業といった事業と連携し、地域住民、担い手の要望を踏まえ耕作放棄地の発生防止を図ります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-④ 地球にやさしい生活環境の整備
担当課	総務課
重要業績評価指標（KPI）目標値	再生可能資源の実用化（公営・民営）件数 15件
現状値	13 件（R元年度）

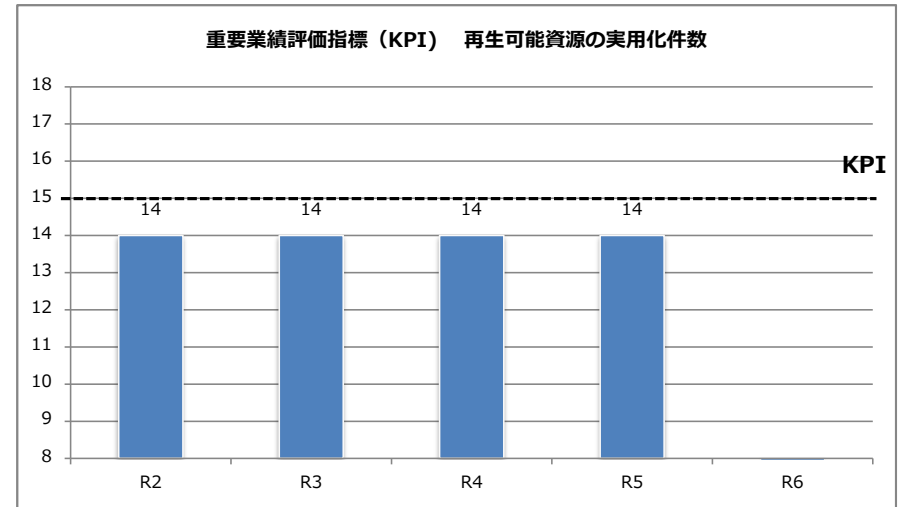
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	13	13	13	14	15
実績値（件）	14	14	14	14	
目標に対する達成率	107.7%	107.7%	107.7%	100.0%	0.0%
現状値に対する増減率	107.7%	107.7%	107.7%	107.7%	0.0%
評価	◎	◎	◎	◎	
目標 [PLAN]	「高山村地球にやさしい環境基本条例」及び同基本計画に基づき、太陽光発電・蓄電や木質バイオマスの活用、小水力発電・地熱発電等の再生可能エネルギーの活用により、さらなるエネルギーの地産地消を進めます。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	今年度、保健福祉総合センターの屋根に太陽光発電パネルを搭載するとともに、蓄電池設備の設置、高効率の空調設備の整備、電灯のLED化を行いました。				
分析 [CHECK]	再生可能エネルギーの活用推進に併せ、避難所の機能強化を図る目的で、国の補助金を活用し整備を進めています。 太陽光以外のエネルギーを活用を進めるため、調査が必要となっています。				
対応方針 [ACTION]	令和6年度は高山中学校校舎屋根に太陽光発電パネルを増設するとともに、蓄電池設備の設置、高効率の空調設備への更新、電灯のLED化を行う予定です。 また、民間事業者が計画している小水力発電事業等に対して、村民への影響を念頭に置きながら適切に対応して参ります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-④ 地球にやさしい生活環境の整備
担当課	総務課
重要業績評価指標 (KPI) 目標値	住宅用太陽光発電件数 412件
現状値	308 件 (R元年度)

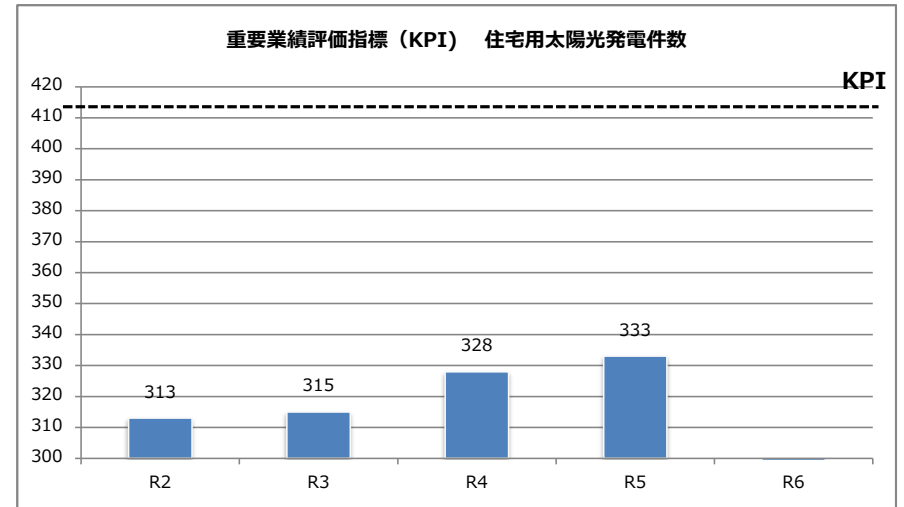
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値 (件)	329	349	370	391	412
実績値 (件)	313	315	328	333	
目標に対する達成率	95.1%	90.3%	88.6%	85.2%	0.0%
現状値に対する増減率	101.6%	102.3%	106.5%	108.1%	0.0%
評価	○	○	○	○	
目標 [PLAN]	「高山村地球にやさしい環境基本条例」及び同基本計画に基づき、太陽光発電・蓄電や木質バイオマスの活用、小水力発電・地熱発電等の再生可能エネルギーの活用により、さらなるエネルギーの地産地消を進めます。				
実績 (具体的な 取組内容) [DO]	「高山村地球にやさしい環境基本条例」及び同基本計画並びに「高山村地域再エネ導入戦略」に基づき、住宅用太陽光発電設備の普及に努めてきました。 太陽光発電設備設置補助：1 kwh当たり30千円 (上限額150千円)				
分析 [CHECK]	村の補助金を活用して、新たに5軒で太陽光発電設備が設置されました。 しかしながら、目標値を下回る状況が続いているため、更なる補助制度の周知が必要と思われます。				
対応方針 [ACTION]	社会情勢の不安定化や円安傾向が続き物価が高騰している中で、新たに太陽光発電設備を設置する村民を増やすことは難しいと思われませんが、引き続き補助制度を広く周知していきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	○ ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-④ 地球にやさしい生活環境の整備
担当課	総務課
重要業績評価指標（KPI）目標値	住宅用蓄電池システム設置件数 10件
現状値	0 件（R2年度から補助制度開始）

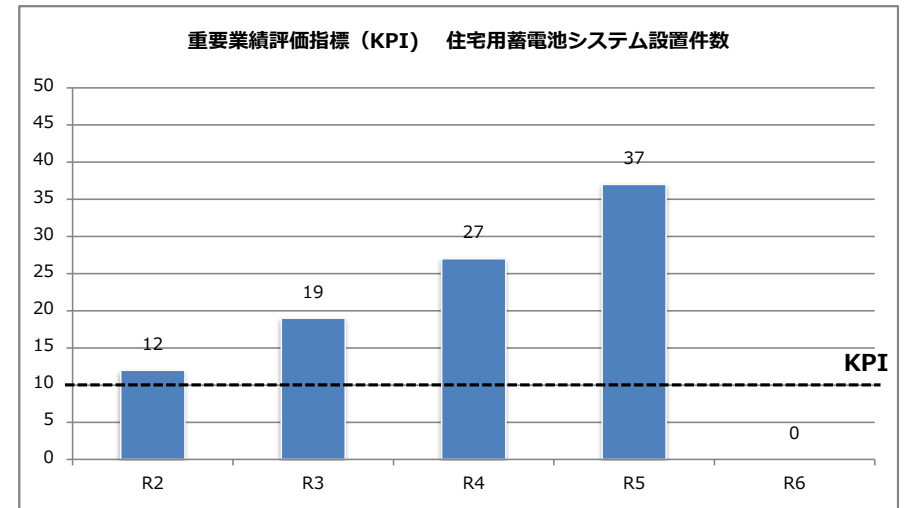
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	2	4	6	8	10
実績値（件）	12	19	27	37	
目標に対する達成率	600.0%	475.0%	450.0%	462.5%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	◎	◎	◎	◎	
目標 [PLAN]	「高山村地球にやさしい環境基本条例」及び同基本計画に基づき、太陽光発電・蓄電や木質バイオマスの活用、小水力発電・地熱発電等の再生可能エネルギーの活用により、さらなるエネルギーの地産地消を進めます。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	「高山村地球にやさしい環境基本条例」及び同基本計画並びに「高山村地域再エネ導入戦略」に基づき、住宅用蓄電池システムの普及に努めてきました。 蓄電池システム設置補助：設置費用の1/10以内（上限額150千円）				
分析 [CHECK]	台風をはじめとする災害発生時の停電の経験から、蓄電池システムの設置への関心が高まってきており、村の補助制度を活用して新たに10軒で設置されました。設置件数が目標値以上となっています。				
対応方針 [ACTION]	社会情勢の不安定化や円安傾向が続き物価が高騰している中ではありますが、住宅用蓄電池システムを設置する村民を増やすべく、引き続き補助制度を広く周知していきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-⑤ 公共交通等の確保
担当課	健康福祉課
重要業績評価指標（KPI）目標値	長電バス「山田温泉線」村内区間の平日利用者数 220人/日
現状値	200 人/日 （R元年度）

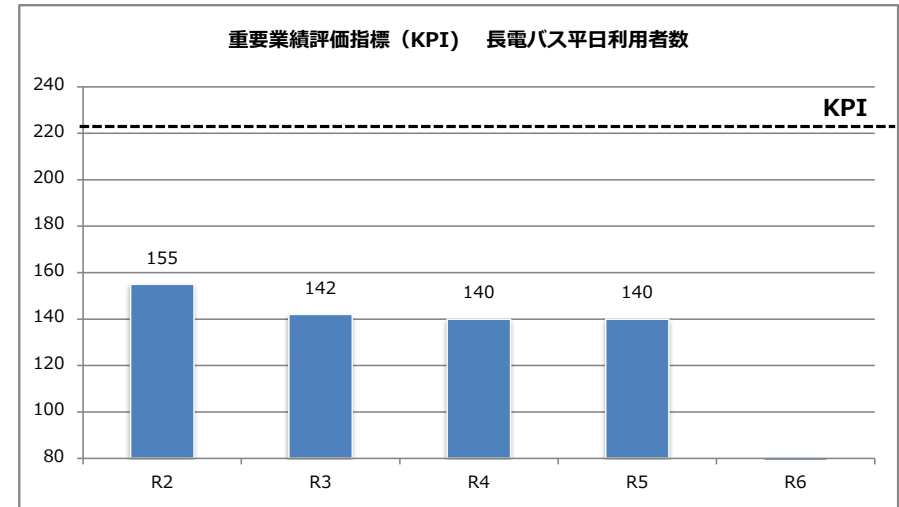
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	204	208	212	216	220
実績値（人）	155	142	140	140	
目標に対する達成率	76.0%	68.3%	66.0%	64.8%	0.0%
現状値に対する増減率	77.5%	71.0%	70.0%	70.0%	0.0%
評価	△	△	△	△	
目標 [PLAN]	村民の重要な足である路線バス等の維持と利用促進を図り、地域づくりに貢献する村民の生活を支えるシステムとして確立するよう、住民・交通事業者・村及びその他関係機関の意識共有のもと推進していきます。事業実施にあたっては、効率的で質の高い地域公共交通の実現に向け、目標達成型の施策展開として「地域公共交通網形成計画」を達成する施策を重点的に展開し、社会環境や住民のニーズの変化を考慮しつつ、適宜見直しを図りながら進めます。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	高齢者サロンやシニアクラブ等の行事及び会合が徐々に再開しましたが、70歳以上の村民を対象に行ってきた公共交通の利用方法及びICカードKURURUに関する説明会等の開催をすることができませんでした。民生児童委員の定例会の場や見守り訪問での声掛け、広報紙等を活用しての制度周知を行いました。				
分析 [CHECK]	行事及び会合の再開に合わせ、路線バス、乗合タクシーの利用も増えてきましたが、利用者は少ない状況が続いています。バスふれあいデーでの子ども運賃無料など、沿線の自治体や事業者とも協力する中で方策を検討しましたが、なかなか実績に繋がっていません。窓口等では住民から「まだ自家用車を運転できる」、「ICカードの作成が億劫」、「免許の変更はしない」などの声が聞かれました。				
対応方針 [ACTION]	村民への周知を今後も実施するとともに、運輸局や県等関係機関との連携を密にし、利用促進と利用者の利便性向上に努めていきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	△ 目標を下回っている・あまり効果なし

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-⑤ 公共交通等の確保
担当課	健康福祉課
重要業績評価指標（KPI）目標値	ICカードKURURUふれあいパスポート所持者数 200人
現状値	150人（R元年度）

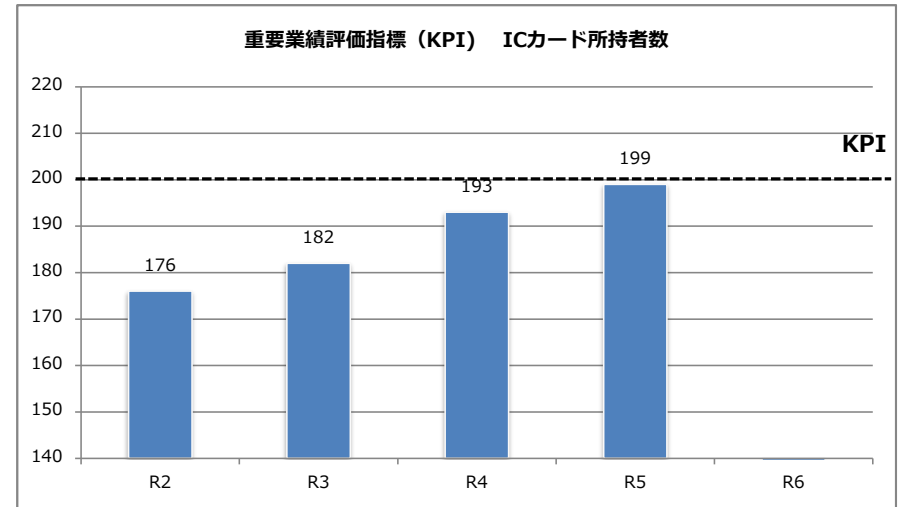
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（人）	160	170	180	190	200
実績値（人）	176	182	193	199	
目標に対する達成率	110.0%	107.1%	107.2%	104.7%	0.0%
現状値に対する増減率	117.3%	121.3%	128.7%	132.7%	0.0%
評価	◎	◎	◎	◎	
目標 [PLAN]	村民の重要な足である路線バス等の維持と利用促進を図り、地域づくりに貢献する村民の生活を支えるシステムとして確立するよう、住民・交通事業者・村及びその他関係機関の意識共有のもと推進していきます。事業実施にあたっては、効率的で質の高い地域公共交通の実現に向け、目標達成型の施策展開として「地域公共交通網形成計画」を達成する施策を重点的に展開し、社会環境や住民のニーズの変化を考慮しつつ、適宜見直しを図りながら進めます。				
実績（具体的な取組内容） [DO]	これまで、シニアクラブ支部を通じて70歳以上の村民を対象に実施していました公共交通の利用方法及びICカードKURURUに関する説明会は、開催することができませんでした。民生児童委員の見守り活動や広報紙等により制度周知を図り、6名の方がICカードを新規に取得しました。				
分析 [CHECK]	村民（70歳以上）への説明会の実施が困難であったため、民生児童委員の見守り活動や広報紙等により周知を図り、ICカードKURURUふれあいパスポートの販売は伸びたことから、一定の販売促進効果が得られたと考えています。				
対応方針 [ACTION]	村民への説明会（PR）の実施や、各種団体の会合等の場を活用し、今後も継続して制度周知に努めていきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-⑥ 国土強靱化の推進
担当課	総務課
重要業績評価指標（KPI）目標値	国土強靱化地域計画の策定
現状値	未策定（R元年度）

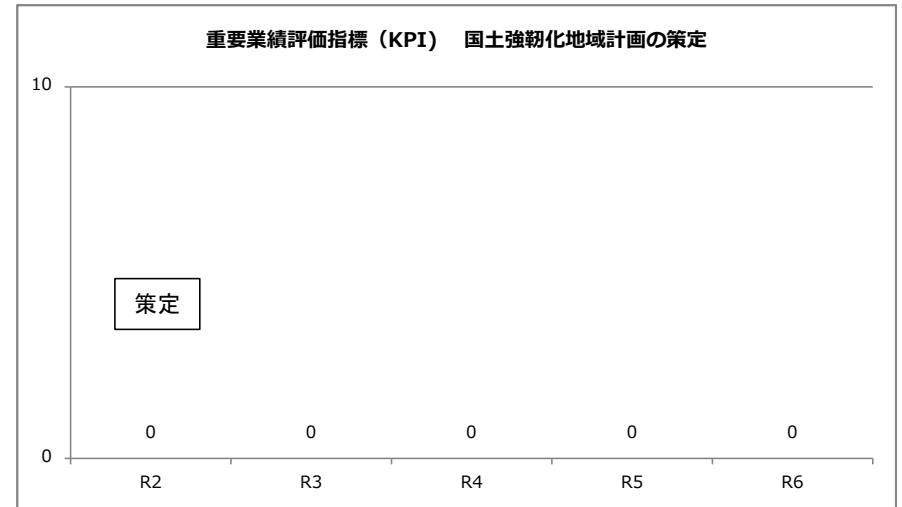
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	策定				
実績値	策定				
目標に対する達成率	100.0%	-	-	-	-
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	◎				
目標 [PLAN]	災害発生時において人命が最大限守られ、被害を最小限に抑え、迅速な復旧・復興を可能とすることができるよう、村民の暮らしを守る重要な機能について、強靱化の観点から必要な対応施策を検討し、計画的な整備を推進します。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	R2年度に策定した国土強靱化地域計画に基づき、藤沢橋の橋梁補修、不動川護岸改修、千本松区排水対策事業等の自然災害防止事業を実施したほか、消防署高山分署へ配備する老朽化した救急車を更新しました。				
分析 [CHECK]	各担当課において、策定した国土強靱化地域計画を指針として、計画的に事業を実施することができるように庁内における計画内容の周知・共有を図るとともに、必要により計画の見直しを行う体制を構築します。				
対応方針 [ACTION]	災害が発生した場合でもその被害を最小限に抑え、速やかな復興を成し遂げるために、策定した国土強靱化地域計画を指針として、災害対策事業等各種事業を展開していきます。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-⑦ 多様な主体による協働の推進
担当課	総務課
重要業績評価指標（KPI）目標値	協働事業助成制度利用件数 250件
現状値	0件

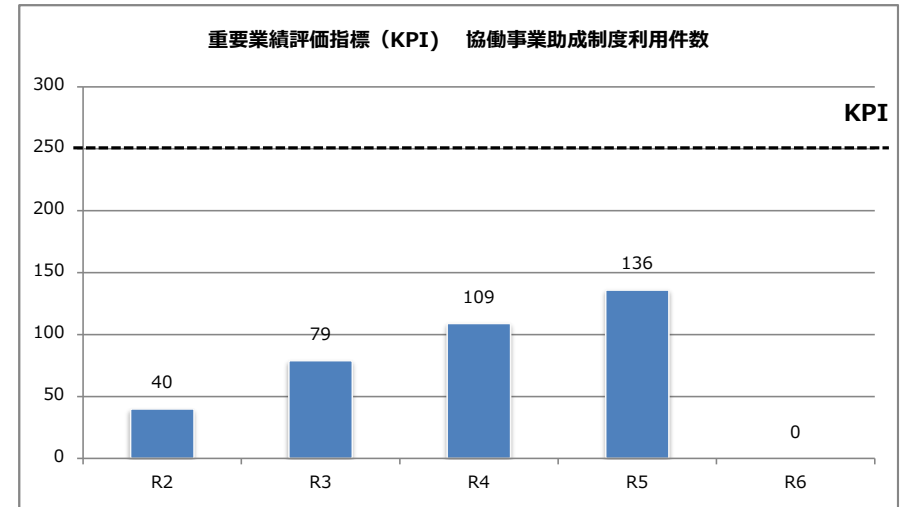
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（件）	50	100	150	200	250
実績値（件）	40	79	109	136	
目標に対する達成率	80.0%	79.0%	72.7%	68.0%	0.0%
現状値に対する増減率	-	-	-	-	-
評価	○	○	○	○	
目標 [PLAN]	自治区活動やスポーツクラブなどの既存の交流活動に加え、多様な主体による協働のむらづくりを推進することにより、地域課題への対応を図るとともに、村民のコミュニティに対する意識の醸成と地域への愛着形成を図ります。				
実績（具体的な 取組内容） [DO]	今年度は、自治区施設整備補助（8件）、長野県市町村振興協会のコミュニティ助成事業（2件）、県元気づくり支援金を活用したおてんま支援事業（14件）などにより、各地区の施設の修繕や歩行型除雪機の購入など安全安心な地域づくりを推進しました。				
分析 [CHECK]	以前から実施しているコミュニティ助成事業やおてんま支援事業等により、地域住民が参画する協働の村づくりを推進していますが、協働事業助成制度利用件数は、目標値を下回る傾向が続いています。				
対応方針 [ACTION]	人口減少や少子高齢化の進行が顕著になっている中、地区等における担い手の不足が課題となっています。移住定住施策や子育て施策の推進を図るとともに、今後も継続して協働事業助成制度の周知と活用の促進を図り、更なる協働による村づくりを推進して参ります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	○ ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり

第二期高山村総合戦略効果検証シート

基本目標	4 魅力的で安心して暮らすことができるむらをつくる
主な施策	4-⑧ 広域連携の推進
担当課	総務課
重要業績評価指標 (KPI) 目標値	広域連携取組件数 30件
現状値	25 件 (H27～R元年度累計)

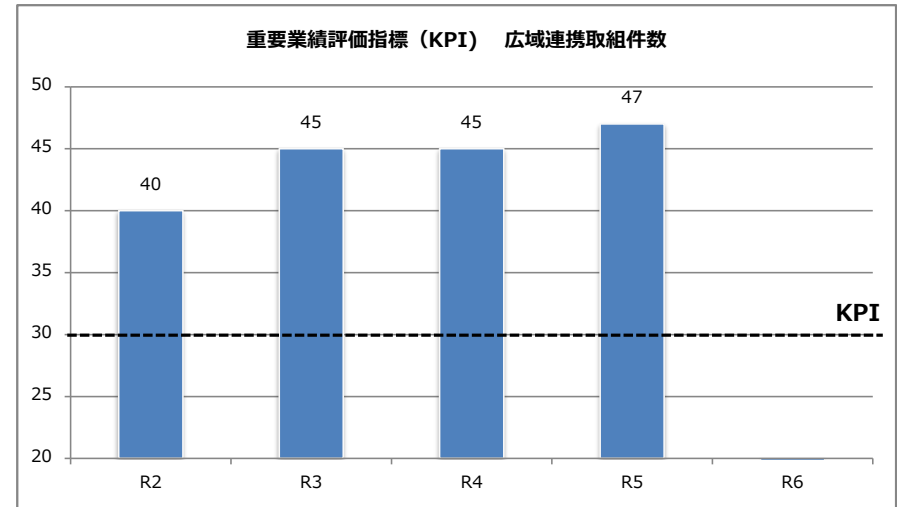
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値 (件)	26	27	28	29	30
実績値 (件)	40	45	45	47	
目標に対する達成率	153.8%	166.7%	160.7%	162.1%	0.0%
現状値に対する増減率	160.0%	180.0%	180.0%	188.0%	0.0%
評価	◎	◎	◎	◎	
目標 [PLAN]	中核市である長野市を中枢都市とする連携中枢都市圏と志賀高原ユネスコエコパークに含まれる自治体、「日本で最も美しい村」連合加盟自治体等との連携した取組みを推進し、効率的かつ効果的に広域課題に対応します。				
実績 (具体的な取組内容) [DO]	これまでと同様に、長野市を中心とした長野地域連携中枢都市圏構想に基づく44項目の事業をはじめ、「日本で最も美しい村」連合の事業などを継続的に実施することで、本村の課題に対し広域的な視点から解決に向けて事業を推進しました。				
分析 [CHECK]	長野地域連携中枢都市圏事業は、継続的に着実に取組んでいる成果が出てきており、村単独では対応できない事業を実施しています。 また、「日本で最も美しい村」連合に関しては11月に再審査が行われた結果、「B」判定となり引き続き加盟町村として活動していくこととなりました。				
対応方針 [ACTION]	長野地域連携中枢都市圏構想事業の参加していない事業について、来年度新たに2事業について参加を予定しているとともに、従来から実施している事業に関しては、当初の目的が達成されるよう更なる取組みの強化が必要であります。				
備考					

年度ごとの評価

◎	目標値以上
○	現状値以上目標値未満
△	現状値未満
—	進捗なし・事業終了

総合評価

◎	目標以上に進捗・効果あり
○	ほぼ目標通りに進捗・やや効果あり
△	目標を下回っている・あまり効果なし
—	目標値・事業の見直し等が必要



総合戦略会議による検証評価

意見等	なし
総合評価	◎ 目標以上に進捗・効果あり